

角田市のデジタル化に関するアンケート調査 結果報告書

第1章 調査の概要

1 目的

角田市にお住いの皆様に情報通信機器やインターネットの普及・活用状況等を把握し、今後のデジタル化政策の基礎資料とするため。

2 調査方法

- (1) 調査対象 令和4年9月1日現在の角田市の住民基本台帳に登録されている満16歳以上の市民の中から無作為に抽出した2,000人
- (2) 調査方法 郵送配布
インターネット回答 もしくは 郵送回収
- (3) 調査期間 令和4年9月29日(木)～令和4年10月20日(木)
- (4) 調査票 本報告書巻末を参照

3 標本数及び回収結果

- (1) 標本数 発送 2,000件 戻り 4件 実質標本数 1,996件
- (2) 有効回収数 778件 (うちインターネット200件 郵送570件 持参8件)
- (3) 有効回収率 39.0%

4 結果利用上の注意

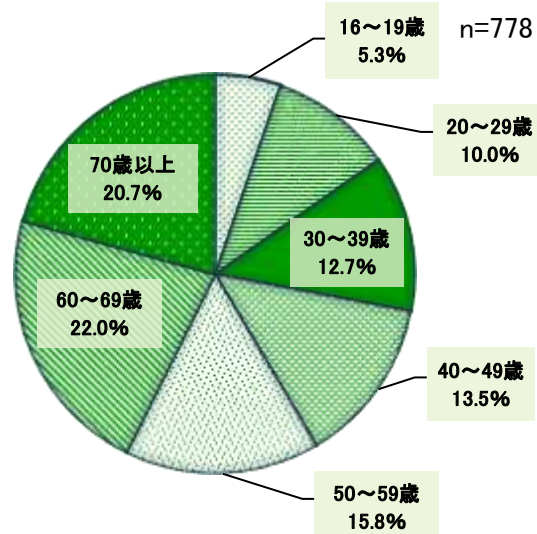
- (1) 図表中の(n)は、各設問の回答者数を示します。
- (2) 結果は百分率(%)で表示し、小数第二位を四捨五入して算出しました。端数処理の関係上、個々の選択肢の百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数(n)として算出しました。複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- (4) 本文や図表中の選択肢等の標記は、語句を短縮・省略している場合があります。

第2章 調査結果（回答のまとめ）

I 基本情報

問1-1 年齢を教えてください。

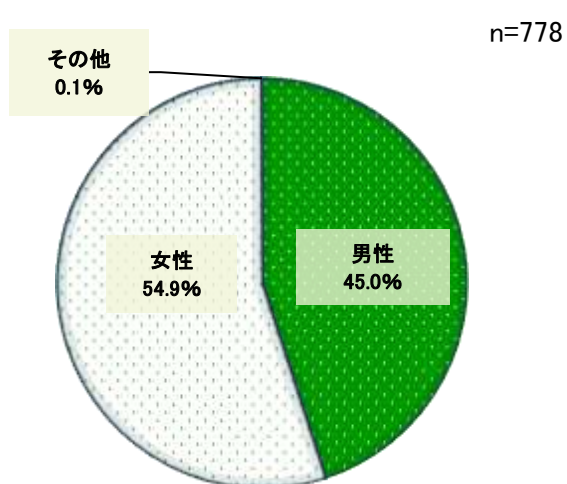
選択肢	回答数	割合
16～19歳	41	5.3%
20～29歳	78	10.0%
30～39歳	99	12.7%
40～49歳	105	13.5%
50～59歳	123	15.8%
60～69歳	171	22.0%
70歳以上	161	20.7%



問1-2 性別を教えてください。

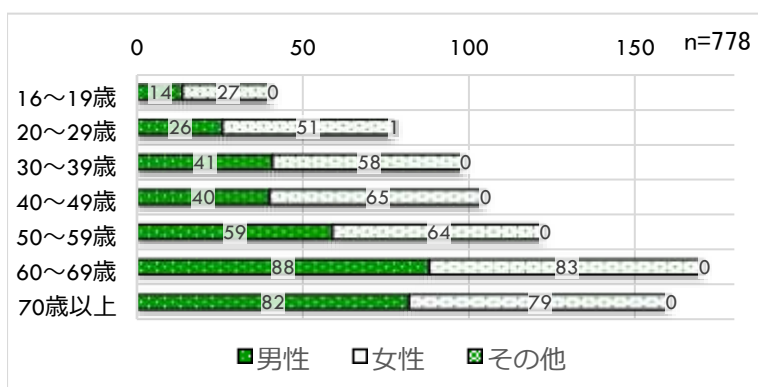
選択肢	回答数	割合
男性	350	45.0%
女性	427	54.9%
その他	1	0.1%

※注「その他」とは、セクシュアルマイノリティを考慮した選択肢



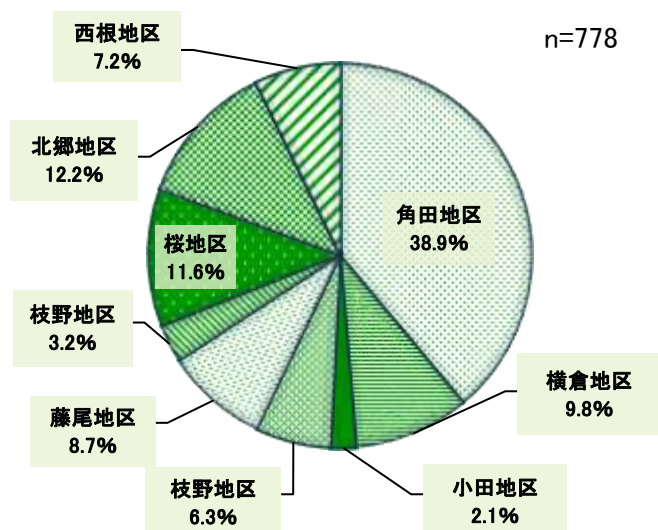
問1-2 性別（年齢別集計）

選択肢	男性	女性	その他
16～19歳	14	27	0
20～29歳	26	51	1
30～39歳	41	58	0
40～49歳	40	65	0
50～59歳	59	64	0
60～69歳	88	83	0
70歳以上	82	79	0



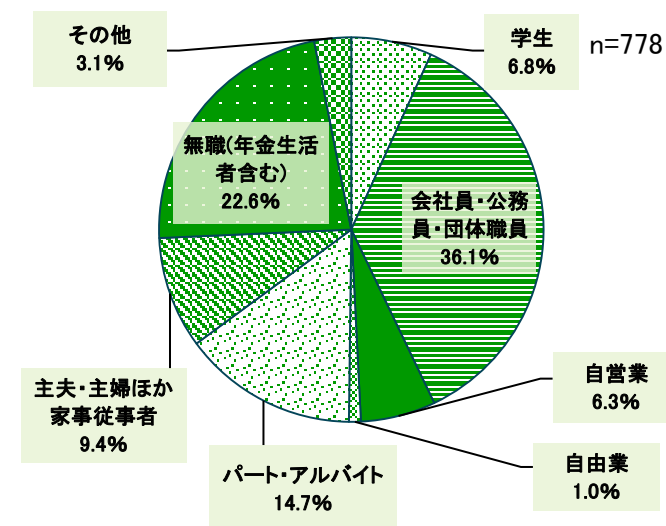
問 1 - 3 お住いの地区を教えてください。

選択肢	回答数	割合
角田地区	303	38.9%
横倉地区	76	9.8%
小田地区	16	2.1%
枝野地区	49	6.3%
藤尾地区	68	8.7%
東根地区	25	3.2%
桜地区	90	11.6%
北郷地区	95	12.2%
西根地区	56	7.2%



問 1 - 4 職業を教えてください。

選択肢	回答数	割合
学生	53	6.8%
会社員・公務員・ 団体職員	281	36.1%
自営業	49	6.3%
自由業	8	1.0%
パート・アルバイト	114	14.7%
主夫・主婦ほか	73	9.4%
無職(年金生活者 含む)	176	22.6%
その他	24	3.1%

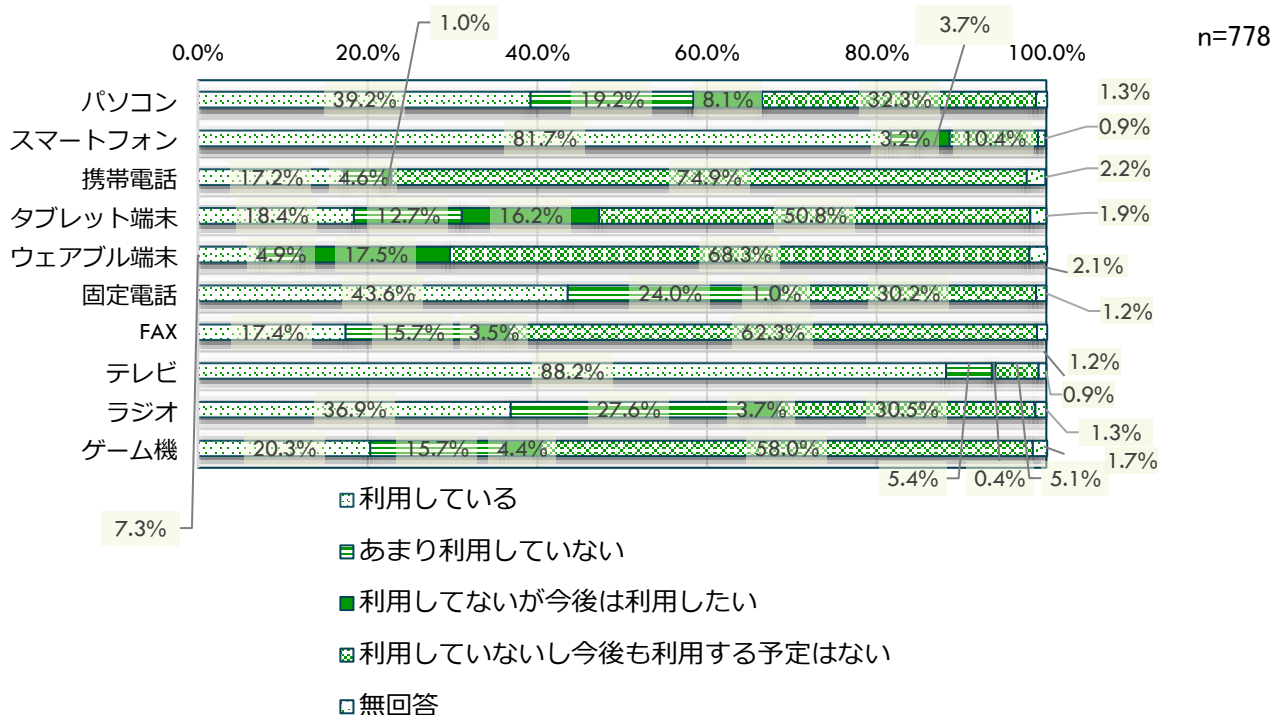


Ⅱ 情報通信機器

問2 あなたが利用している情報通信機器の利用状況に関して、それぞれの項目で当てはまるものを選んでください。

(n=778)

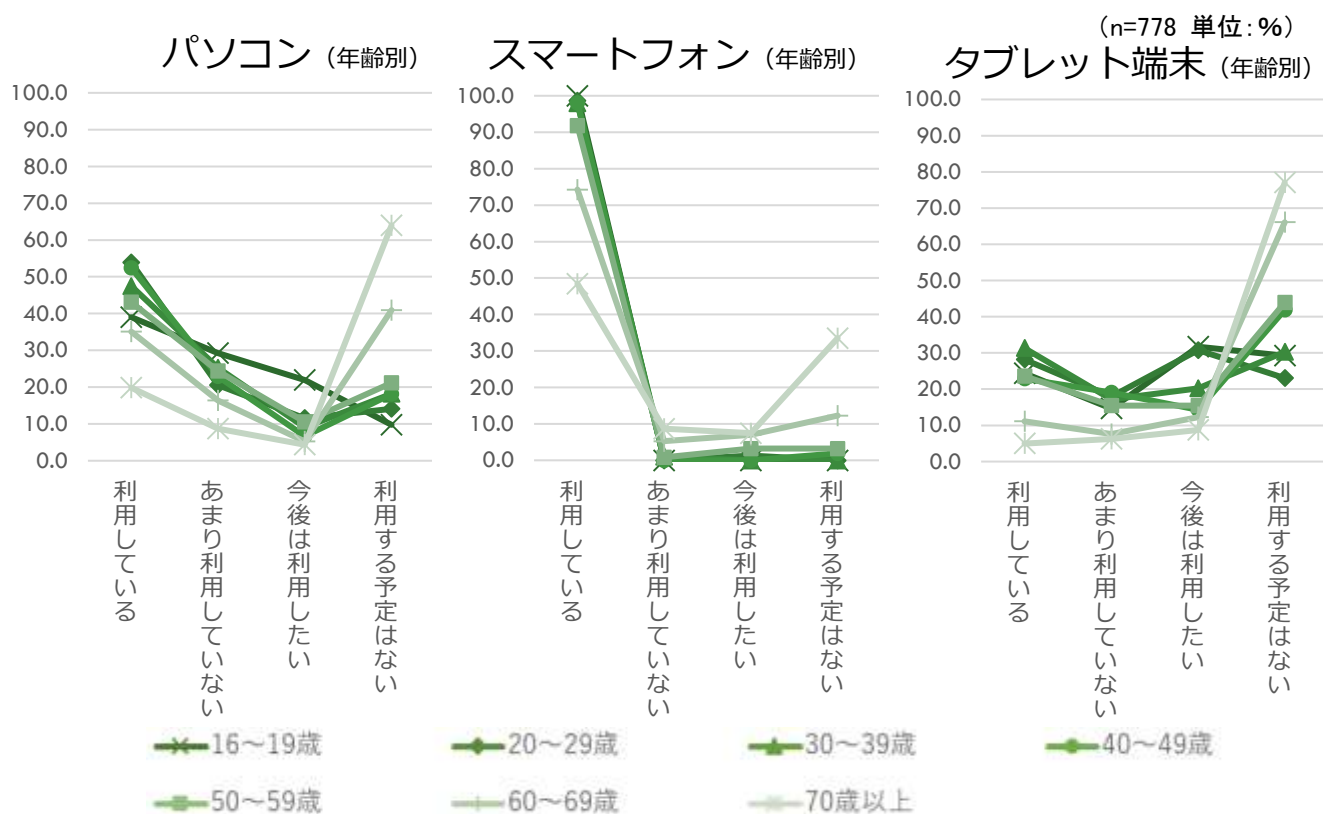
選択肢	利用している		あまり利用していない		利用していないが 今後は利用したい		利用していないし 今後も利用する予定はない		未回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
パソコン	305	39.2%	149	19.2%	63	8.1%	251	32.3%	10	1.3%
スマートフォン	636	81.7%	25	3.2%	29	3.7%	81	10.4%	7	0.9%
携帯電話	134	17.2%	36	4.6%	8	1.0%	583	74.9%	17	2.2%
タブレット端末	143	18.4%	99	12.7%	126	16.2%	395	50.8%	15	1.9%
ウェアブル端末	57	7.3%	38	4.9%	136	17.5%	531	68.3%	16	2.1%
固定電話	339	43.6%	187	24.0%	8	1.0%	235	30.2%	9	1.2%
FAX	135	17.4%	122	15.7%	27	3.5%	485	62.3%	9	1.2%
テレビ	686	88.2%	42	5.4%	3	0.4%	40	5.1%	7	0.9%
ラジオ	287	36.9%	215	27.6%	29	3.7%	237	30.5%	10	1.3%
ゲーム機	158	20.3%	122	15.7%	34	4.4%	451	58.0%	13	1.7%



【傾向】

- ・ 情報通信機器の利用状況については、現在利用している機器として「テレビ」が 88.2%で割合が高く、続いて「スマートフォン」が 81.7%となった。
- ・ 利用していないが今後は利用したい機器として「ウェアブル端末」が 12.7%と割合が高かった。

選択肢	n	パソコン					スマートフォン					タブレット端末				
		利用している	あまり利用していない	利用していないが今後は利用したい	利用していないし今後利用する予定はない	無回答	利用している	あまり利用していない	利用していないが今後は利用したい	利用していないし今後利用する予定はない	無回答	利用している	あまり利用していない	利用していないが今後は利用したい	利用していないし今後利用する予定はない	無回答
16～19歳	41	39.0	29.3	22.0	9.8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4	14.6	31.7	29.3	0.0
20～29歳	78	53.8	20.5	11.5	14.1	0.0	98.7	0.0	1.3	0.0	0.0	28.2	17.9	30.8	23.1	0.0
30～39歳	99	47.5	25.3	9.1	18.2	0.0	98.0	1.0	0.0	0.0	1.0	31.3	17.2	20.2	30.3	1.0
40～49歳	105	52.4	22.9	6.7	18.1	0.0	98.1	0.0	0.0	1.9	0.0	22.9	19.0	14.3	41.9	1.9
50～59歳	123	43.1	24.4	10.6	21.1	0.8	91.9	0.8	3.3	3.3	0.8	23.6	15.4	15.4	43.9	1.6
60～69歳	171	35.1	16.4	5.3	40.9	2.3	74.3	5.3	7.0	12.3	1.2	11.1	7.6	12.3	66.1	2.9
70歳以上	161	19.9	8.7	4.3	64.0	3.1	48.4	8.7	7.5	33.5	1.9	5.0	6.2	8.7	77.0	3.1



※無回答は対象数が少ないため、グラフ化しません。

【傾向】

- ・パソコンについては、利用している人の割合が20～49歳がおおむね5割となった。
- ・スマートフォンを利用している人の割合が59歳までが9割超となったのに対し、70歳以上はおおむね5割にとどまった。

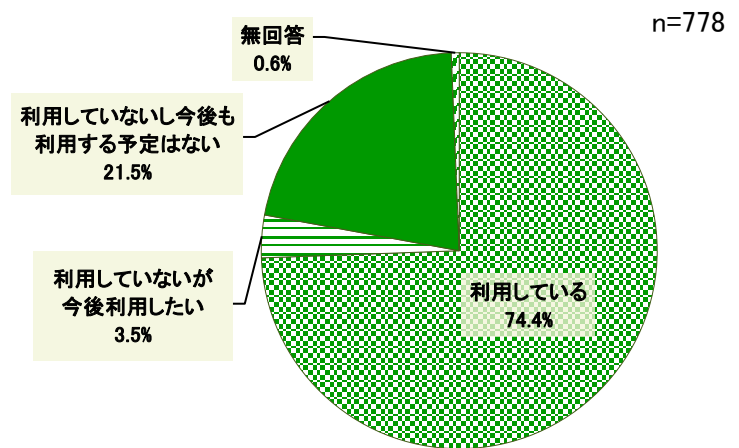
Ⅲ インターネット

問3 インターネットを利用していますか。

選択肢	回答数	割合
利用している	579	74.4%
今後利用したい	27	3.5%
利用する予定もない	167	21.5%
無回答	5	0.6%

【傾向】

- ・74.4%の方が、インターネットを利用していた。



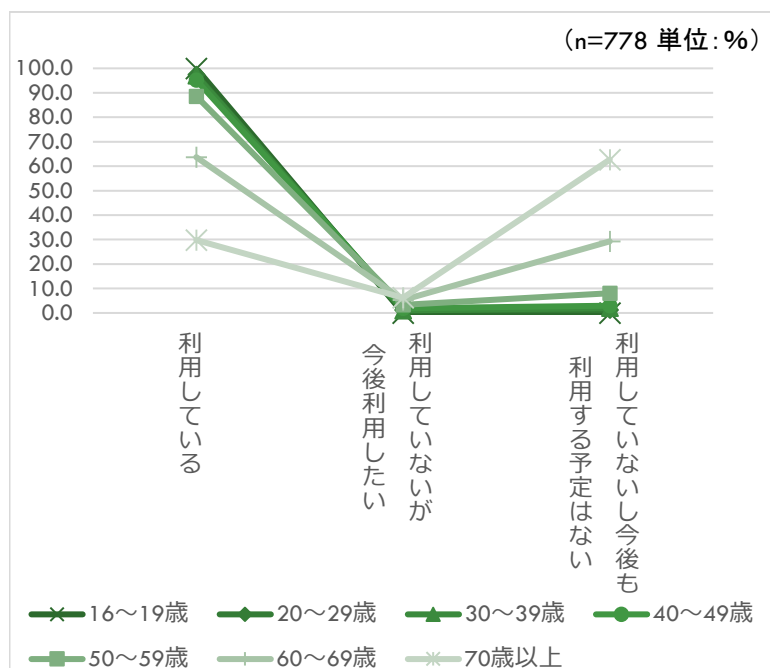
インターネット（年齢別集計）

(n=778)

選択肢	n	利用している		利用していないが今後利用したい		利用していないし今後利用する予定もない		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
16～19歳	41	41	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20～29歳	78	76	97.4%	1	1.3%	1	1.3%	0	0.0%
30～39歳	99	96	97.0%	1	1.0%	2	2.0%	0	0.0%
40～49歳	105	100	95.2%	2	1.9%	3	2.9%	0	0.0%
50～59歳	123	109	88.6%	4	3.3%	10	8.1%	0	0.0%
60～69歳	171	109	63.7%	9	5.3%	50	29.2%	3	1.8%
70歳以上	161	48	29.8%	10	6.2%	101	62.7%	2	1.2%

【傾向】

- ・インターネットを利用している人の割合は、49歳までが9割超となったのに対し、年齢が高くなるほど利用率は減り、70歳以上では約3割にとどまった。
- ・現在、インターネットを利用していない方で、今後もインターネットを利用する予定もないと回答した方は、年齢が高くなるほど高い割合となった。



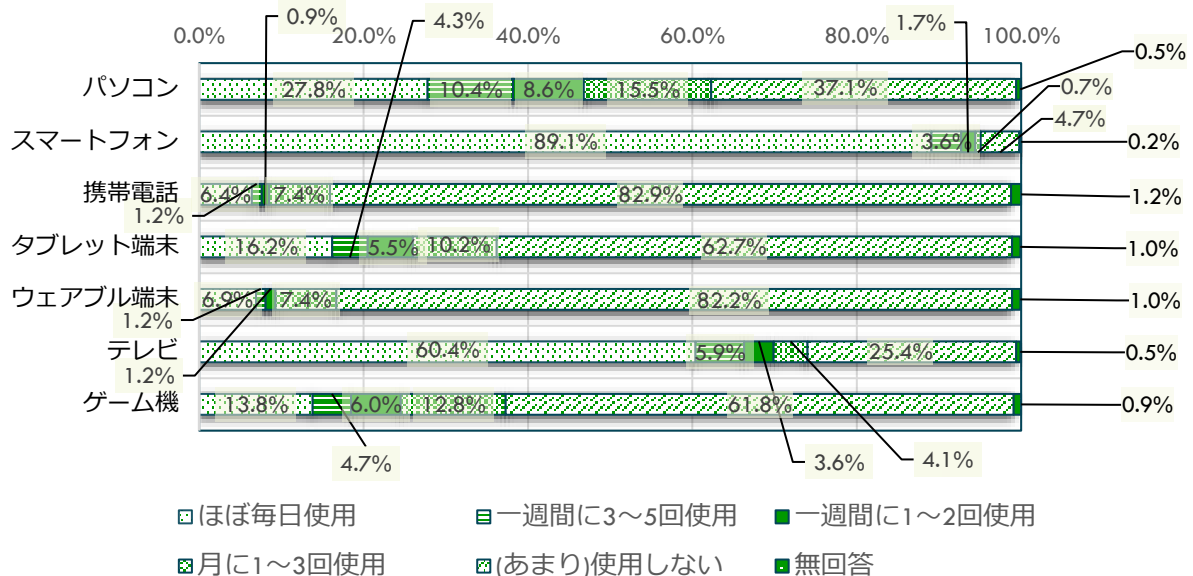
※無回答は対象数が少ないため、グラフ化しません。

問3-2 インターネットを利用している端末及びインターネットの利用頻度について、それぞれの項目で当てはまるものを選んでください（インターネット利用者）。

n=579

選択肢	ほぼ毎日使用		一週間に3～5回使用		一週間に1～2回使用		月に1～3回使用		(あまり)使用しない		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
パソコン	161	27.8%	60	10.4%	50	8.6%	90	15.5%	215	37.1%	3	0.5%
スマートフォン	516	89.1%	21	3.6%	10	1.7%	4	0.7%	27	4.7%	1	0.2%
携帯電話	37	6.4%	7	1.2%	5	0.9%	43	7.4%	480	82.9%	7	1.2%
タブレット端末	94	16.2%	25	4.3%	32	5.5%	59	10.2%	363	62.7%	6	1.0%
ウェアブル端末	40	6.9%	7	1.2%	7	1.2%	43	7.4%	476	82.2%	6	1.0%
テレビ	350	60.4%	34	5.9%	21	3.6%	24	4.1%	147	25.4%	3	0.5%
ゲーム機	80	13.8%	27	4.7%	35	6.0%	74	12.8%	358	61.8%	5	0.9%

n=579



【傾向】

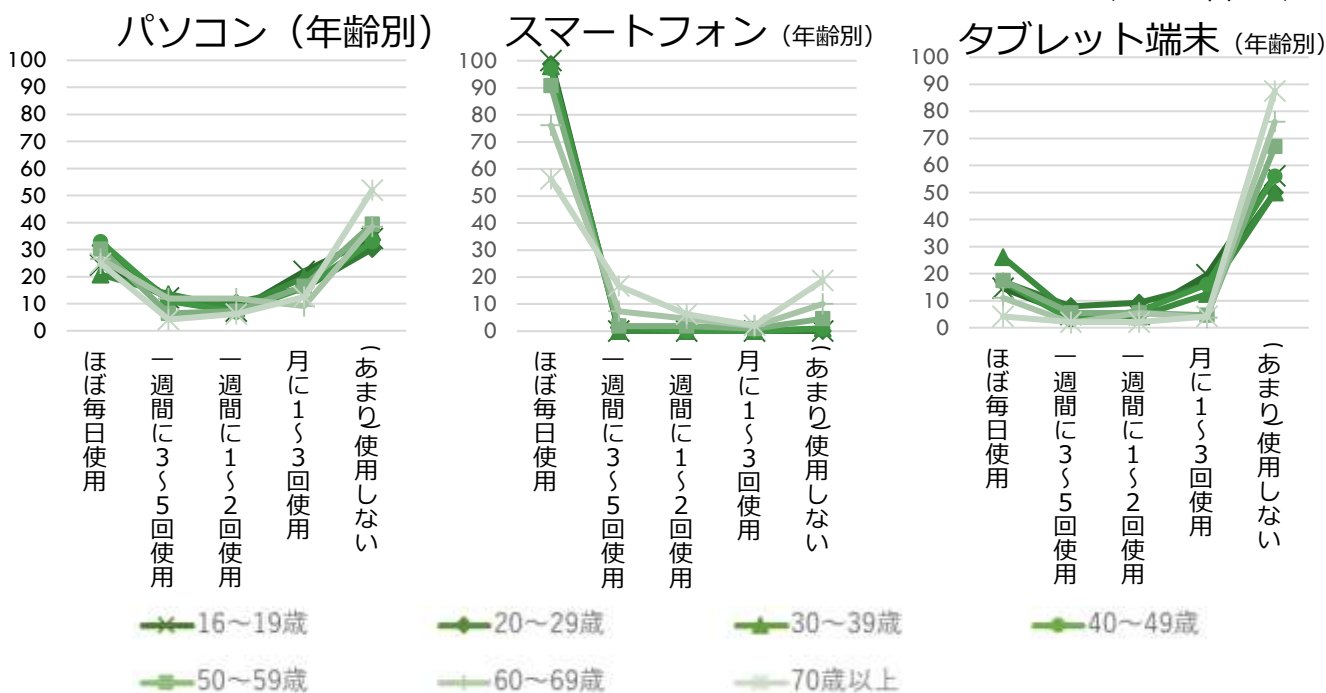
・インターネットを利用していると回答した方のうち、「スマートフォン」をほぼ毎日利用している方が89.1%であった。続いて「テレビ」が60.4%となったが、2021年に株式会社マクロミルが調査したテレビのインターネット接続率は41.8%となっていることから、今回の調査の「テレビ」については、インターネットを利用していない方も回答している可能性があると思われる数値となっている。

インターネットを利用している端末・利用頻度（年齢別集計）

(n=579 単位:%)

選択肢	n	パソコン					スマートフォン					タブレット端末							
		ほぼ毎日使用	一週間に3～5回使用	一週間に1～2回使用	月に1～3回使用	(あまり)使用しない	無回答	ほぼ毎日使用	一週間に3～5回使用	一週間に1～2回使用	月に1～3回使用	(あまり)使用しない	無回答	ほぼ毎日使用	一週間に3～5回使用	一週間に1～2回使用	月に1～3回使用	(あまり)使用しない	無回答
16～19歳	41	24.4	12.2	7.3	22.0	34.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6	4.9	4.9	19.5	56.1	0.0
20～29歳	76	31.6	11.8	10.5	15.8	30.3	0.0	98.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1	7.9	9.2	15.8	50.0	0.0
30～39歳	96	20.8	13.5	8.3	19.8	36.5	1.0	97.9	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	26.0	5.2	4.2	12.5	50.0	2.1
40～49歳	100	33.0	11.0	7.0	16.0	33.0	0.0	97.0	2.0	0.0	0.0	1.0	0.0	17.0	3.0	6.0	16.0	56.0	2.0
50～59歳	109	30.3	6.4	7.3	16.5	39.5	0.0	90.8	1.8	1.8	0.9	4.6	0.0	17.4	5.5	5.5	4.6	67.0	0.0
60～69歳	109	26.6	11.9	11.9	9.2	38.5	1.8	76.1	7.3	4.6	1.8	10.1	0.0	11.0	1.8	5.5	3.7	76.1	1.8
70歳以上	48	25.0	4.2	6.3	12.5	52.1	0.0	56.3	16.7	6.3	2.1	18.8	0.0	4.2	2.1	2.1	4.2	87.5	0.0

(n=579 単位:%)



※無回答は対象数が少ないため、グラフ化しません。

【傾向】

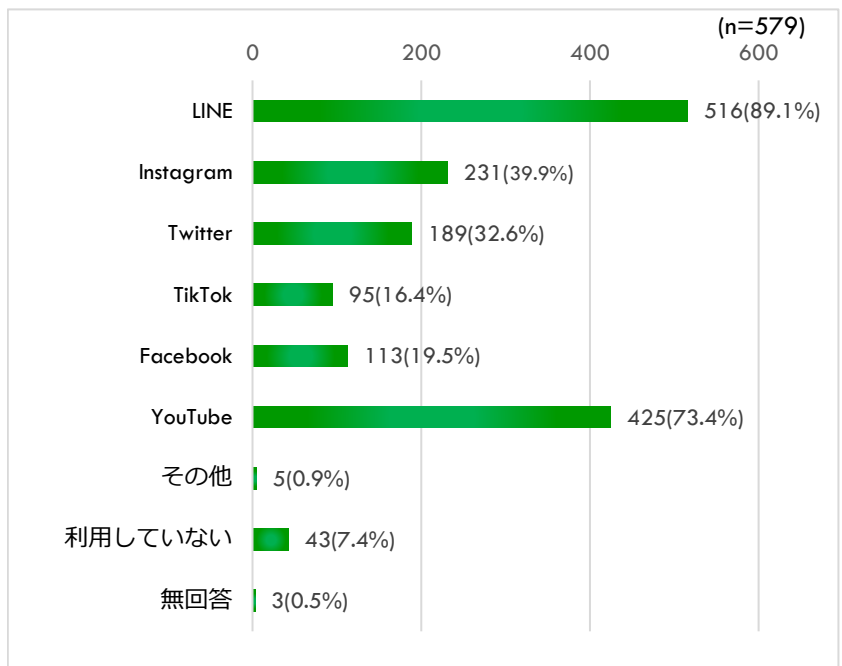
- ・インターネットを利用していると回答した方のうち、パソコンについて、ほぼ毎日使用している方が40～49歳が33.0%、続いて20～29歳で31.6%となった。
- ・16～19歳の全員が、スマートフォンで、ほぼ毎日インターネットを使用していた。

問3-3 あなたが現在利用しているSNSはなんですか（インターネット利用者）。（複数回答可）

(n=579)

選択肢	回答数	割合
LINE	516	89.1%
Instagram	231	39.9%
Twitter	189	32.6%
TikTok	95	16.4%
Facebook	113	19.5%
YouTube	425	73.4%
その他	5	0.9%
利用していない	43	7.4%
無回答	3	0.5%

「その他」の主な回答
Wechat



【傾向】

- ・インターネットを利用している方のうち、SNSを利用している方は約9割であった。
- ・SNSを利用しているほとんど方は、LINEを利用していた。

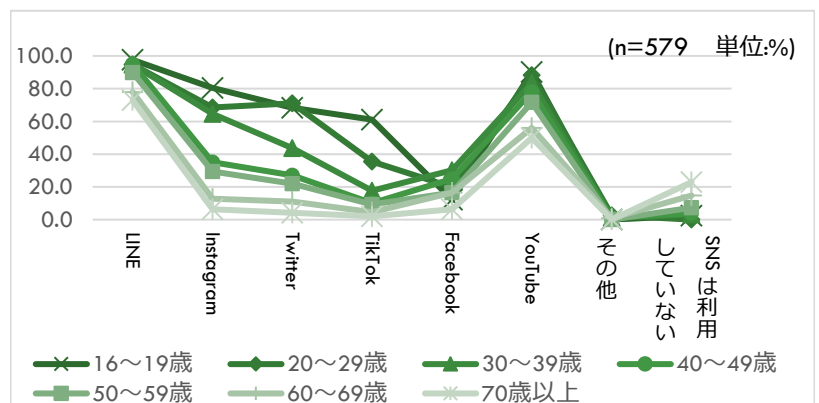
利用しているSNS（年齢別集計）

(n=579 単位:%)

選択肢	n	LINE	Instagram	Twitter	TikTok	Facebook	YouTube	その他	SNSは利用していない	無回答
16～19歳	41	97.6	80.5	68.3	61.0	12.2	90.2	0.0	2.4	0.0
20～29歳	76	94.7	68.4	71.1	35.5	19.7	88.2	2.6	0.0	0.0
30～39歳	96	94.8	64.6	43.8	17.7	30.2	83.3	1.0	3.1	0.0
40～49歳	100	95.0	35.0	27.0	10.0	25.0	78.0	1.0	4.0	0.0
50～59歳	109	89.9	29.4	22.0	9.2	16.5	71.6	0.0	7.3	0.9
60～69歳	109	78.0	12.8	11.0	4.6	16.5	56.0	0.9	14.7	0.9
70歳以上	48	72.9	6.3	4.2	2.1	6.3	50.0	0.0	22.9	2.1

【傾向】

- ・若年層になるほど、複数のSNSを使用している。
- ・全体的に年代が上がると利用率が下がる傾向にある中、LINEは全世代において割合が高かった。



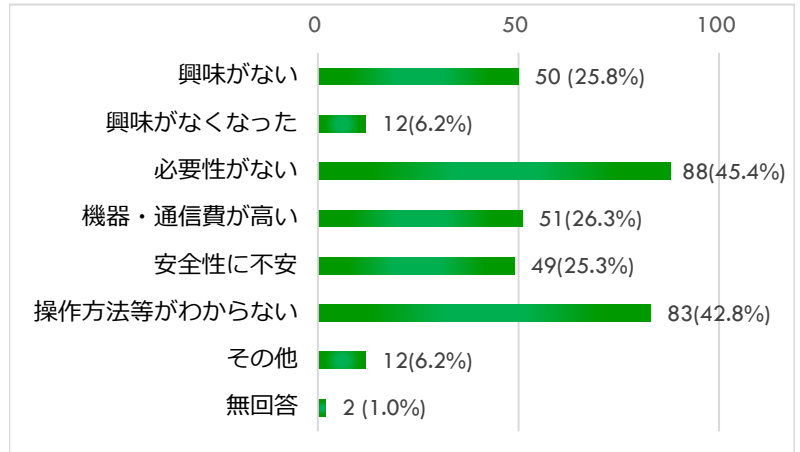
※無回答は対象数が少ないため、グラフ化しません。

問3-4 インターネットを利用していない理由はなんですか（インターネット未利用者）。（複数回答可）

(n=194)

(n=194)

選択肢	回答数	割合
興味がない	50	25.8%
以前は利用していたが興味なくなった	12	6.2%
必要性がない	88	45.4%
機器・通信費が高い	51	26.3%
安全性に不安	49	25.3%
操作方法等がわからない	83	42.8%
その他	12	6.2%
無回答	2	1.0%



【傾向】

・インターネットを利用している方の理由としては、「必要性がない」の45.4%、続いて「操作方法等がわからない」の42.8%という割合が高かった。

インターネットを利用していない理由（年齢別集計）

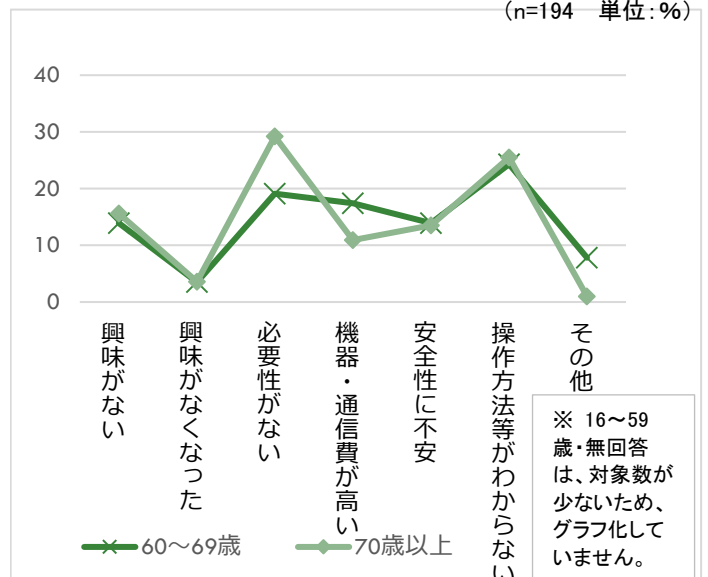
(n=194 単位:%)

選択肢	n	興味がない	興味なくなった	必要性がない	機器・通信費が高い	安全性に不安	操作方法等がわからない	その他	無回答
16～19歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	5	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	12	0.0	0.0	8.3	33.3	33.3	25.0	0.0	0.0
50～59歳	20	15.0	0.0	30.0	20.0	10.0	15.0	5.0	5.0
60～69歳	115	13.9	3.5	19.1	17.4	13.9	24.3	7.8	0.0
70歳以上	192	15.6	3.6	29.2	10.9	13.5	25.5	1.0	0.5

【傾向】

・インターネットを利用していない理由として、60歳以上の方は「必要性がない」、「操作方法等がわからない」との回答が多かった。

(n=194 単位:%)



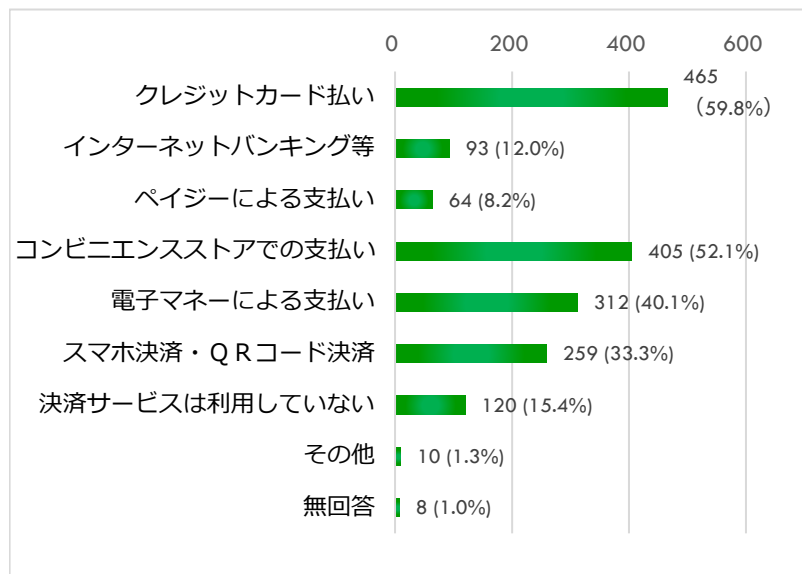
IV キャッシュレス決済サービス

問4-1 現在利用している決済サービスはどれですか。(複数回答可)

(n=778)

選択肢	回答数	割合
クレジットカード払い	465	59.8%
インターネットバンキング モバイルバンキング	93	12.0%
ページーによる支払い	64	8.2%
コンビニエンスストアでの支払い	405	52.1%
電子マネーによる支払い	312	40.1%
スマホ決済・QRコード決済	259	33.3%
決済サービスは利用していない	120	15.4%
その他	10	1.3%
無回答	8	1.0%

(n=778)



【傾向】

・最も利用されている決済サービスは「クレジットカード払い」で59.8%となった。続いて「コンビニエンスストアでの支払い」が52.1%、「電子マネーによる支払い」が40.1%であった。

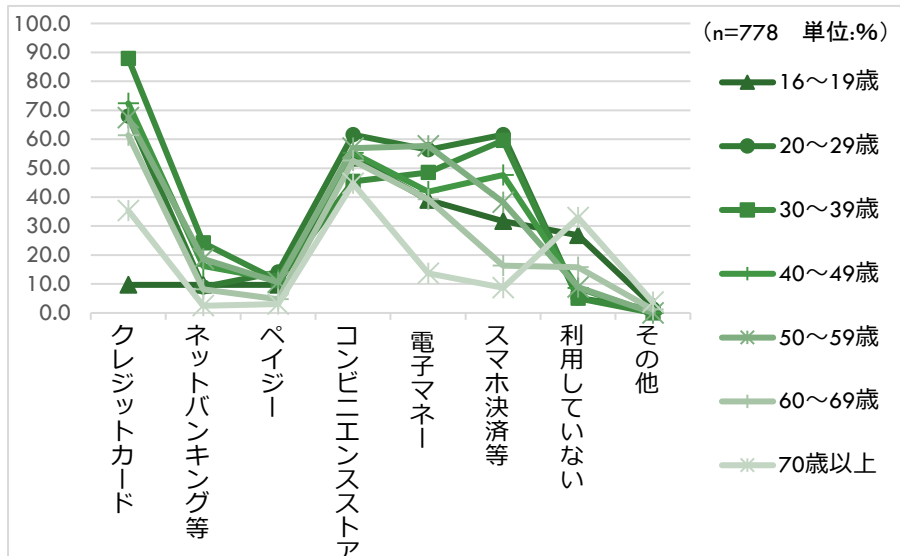
現在利用している決済サービス（年齢別集計）

(n=778 単位:%)

選択肢	n	クレジットカード	インターネットバンキング等	ページー	コンビニエンスストア	電子マネー	スマホ決済等	利用していない	その他	無回答
16～19歳	41	9.8	9.8	9.8	53.7	39.0	31.7	26.8	2.4	0.0
20～29歳	78	68.0	9.0	14.1	61.5	56.4	61.5	5.1	1.3	0.0
30～39歳	99	87.9	24.2	11.1	45.5	48.5	59.6	5.1	0.0	0.0
40～49歳	105	72.4	16.2	11.4	55.2	41.9	47.6	8.6	0.0	0.0
50～59歳	123	67.5	18.7	10.6	56.9	57.7	38.2	8.9	0.0	0.0
60～69歳	171	61.4	8.2	4.7	52.6	39.2	16.4	15.8	1.2	0.6
70歳以上	161	35.4	2.5	3.1	44.7	13.7	8.7	32.9	3.7	4.4

【傾向】

- ・20～60代の方は、クレジットカードによる支払いが最も多く、その中でも30代の利用率は約9割となった。
- ・20～30代の方は、スマホ・QRコード決済を利用している方が約6割となった。

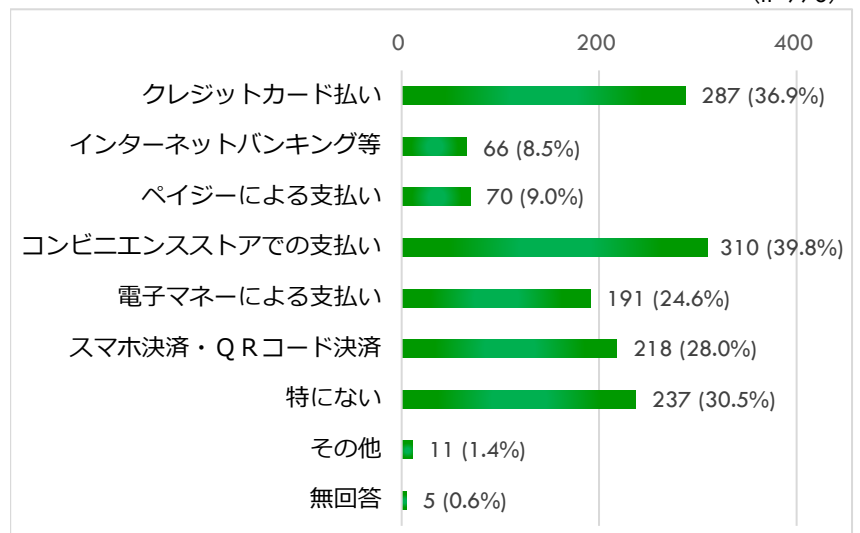


※無回答は対象数が少ないため、グラフ化しません。

問4-2 今後市税や手数料などの支払いで利用できるようにして欲しい決済サービスはどれですか。(複数回答可)

(n=778)

選択肢	回答数	割合
クレジットカード払い	287	36.9%
インターネットバンキング モバイルバンキング	66	8.5%
ペイジーによる支払い	70	9.0%
コンビニエンスストア での支払い	310	39.8%
電子マネーによる支 払い	191	24.6%
スマホ決済・QRコー ド決済	218	28.0%
特にない	237	30.5%
その他	11	1.4%
無回答	5	0.6%



【傾向】

・今後市税や手数料などの支払いで利用できるようにして欲しい決済サービスで最も高い決済サービスは「コンビニエンスストアでの支払い」で39.8%となった。

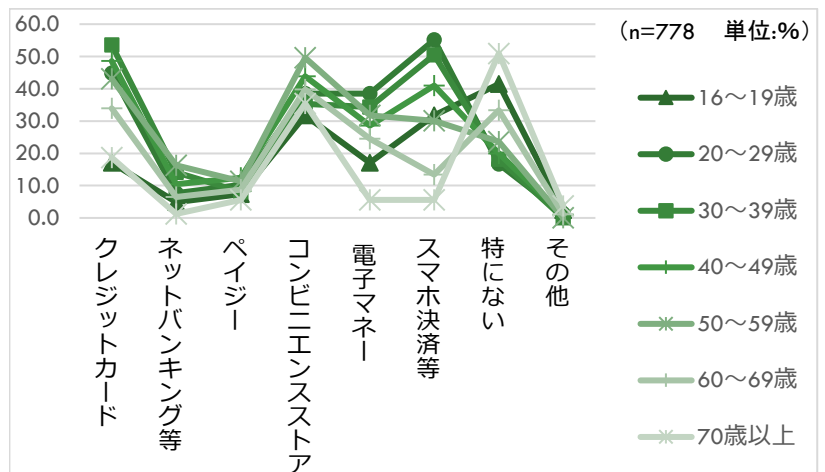
市税や手数料などの支払いで利用できるようにして欲しい決済サービス（年齢別集計）

(n=778 単位:%)

選択肢	n	クレジ ット カード	イン ター ネ ット バ ン キ ン グ 等	ペ イ ジ ー	コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア	電 子 マ ネ ー	ス マ ホ 決 済 等	特 に な い	そ の 他	無 回 答
16～19歳	41	17.1	4.9	7.3	31.7	17.1	31.7	41.5	2.4	0.0
20～29歳	78	44.9	7.7	10.3	38.5	38.5	55.1	16.7	1.3	0.0
30～39歳	99	53.5	14.1	8.1	35.4	34.3	50.5	18.2	0.0	0.0
40～49歳	105	48.6	10.5	12.4	43.8	28.6	41.0	20.0	1.0	0.0
50～59歳	123	43.1	16.3	11.4	49.6	31.7	30.1	23.6	0.0	0.0
60～69歳	171	33.9	6.4	8.8	39.8	24.6	13.5	33.3	1.2	0.6
70歳以上	161	18.6	1.2	5.6	35.4	5.6	5.6	50.9	3.7	2.5

【傾向】

・市税や手数料などの支払いで利用できるようにしてほしい決済サービスについては、各年代において、問4-1で調査した利用している電子決済サービスの割合より概ね低い割合となった。

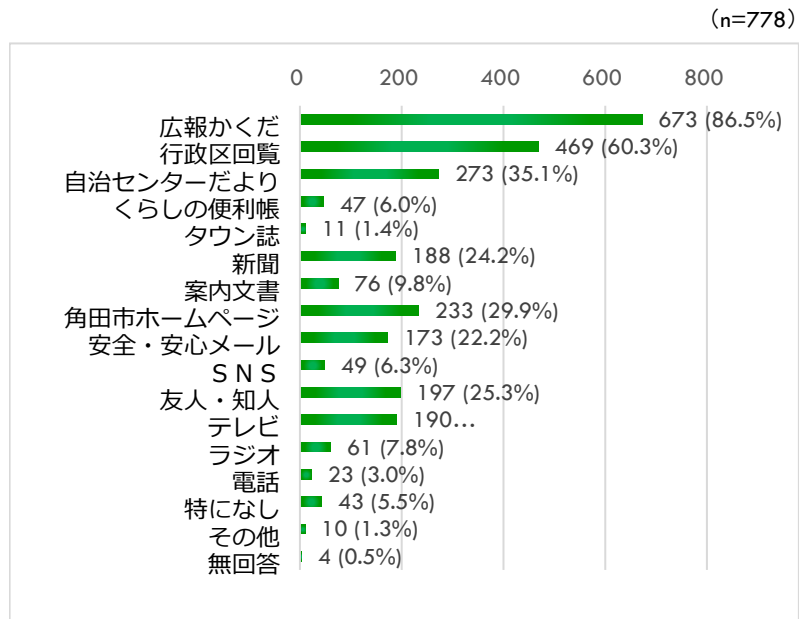


※無回答は対象数が少ないため、グラフ化しません。

V 角田市政情報入手手段

問5-1 現在の角田市の情報の入手手段はなんですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
広報かくだ	673	86.5%
行政区回覧	469	60.3%
自治センターだより	273	35.1%
くらしの便利帳	47	6.0%
タウン誌	11	1.4%
新聞	188	24.2%
案内文書	76	9.8%
角田市ホームページ	233	29.9%
安全・安心メール	173	22.2%
SNS	49	6.3%
友人・知人	197	25.3%
テレビ	190	24.4%
ラジオ	61	7.8%
電話	23	3.0%
特になし	43	5.5%
その他	10	1.3%
無回答	4	0.5%



【傾向】

・角田市市政情報を入手する手段として、広報かくだと回答した方が86.5%となった。また、インターネットを利用して情報を得る手段として最も多かったのは角田市ホームページで約3割となった。

角田市政情報入手手段（年齢別集計・上位8項目抜粋）

(n=778 単位:%)

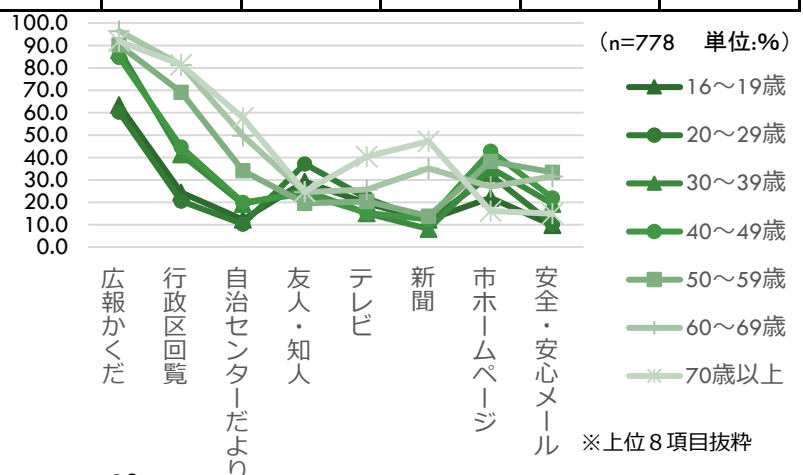
選択肢	n	広報かくだ	行政区回覧	自治センターだより	友人・知人	テレビ	新聞	角田市ホームページ	安全・安心メール
16～19歳	41	63.4	24.4	12.2	29.3	19.5	12.2	22.0	9.8
20～29歳	78	60.3	20.5	10.3	37.2	21.8	11.5	32.1	10.3
30～39歳	99	87.9	41.4	19.2	25.3	15.2	8.1	35.4	19.2
40～49歳	105	84.8	44.8	20.0	23.8	15.2	12.4	42.9	21.9
50～59歳	123	90.2	69.1	34.2	19.5	20.3	13.8	38.2	33.3
60～69歳	171	96.5	81.3	49.7	24.6	25.7	35.1	26.9	31.6
70歳以上	161	91.9	81.4	57.8	24.8	40.4	47.2	16.2	14.9

【傾向】

・各年代において、角田市ホームページよりも広報かくだから市政情報を得る方が多く、紙媒体で確認する習慣がスマホ世代でも多い結果となった。

「その他」の主な回答

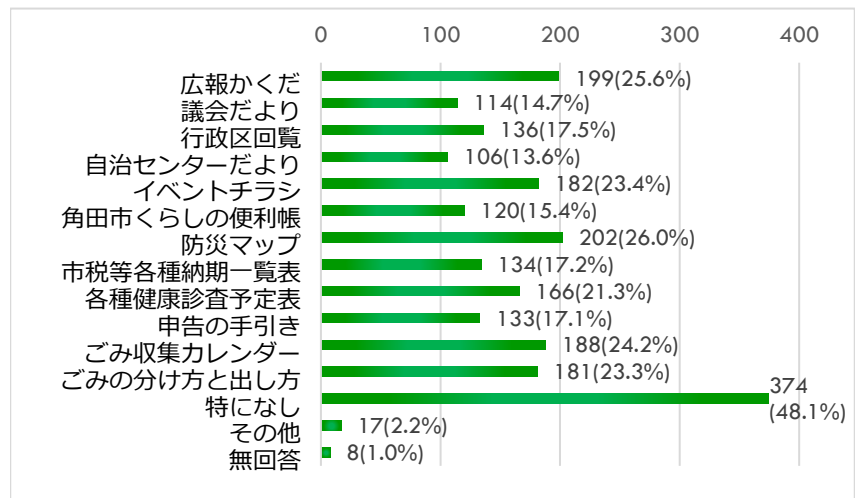
紙での配布はゴミを増やす



問5-2 角田市で発行し、配布・回覧しているもののうち、紙ではなく電子データで配信してほしいものはなんですか。(複数回答可)

(n=778)

選択肢	回答数	割合
広報かくだ	199	25.6%
議会だより	114	14.7%
行政区回覧	136	17.5%
自治センターだより	106	13.6%
イベントチラシ	182	23.4%
角田市くらしの便利帳	120	15.4%
防災マップ	202	26.0%
市税等各種納期一覧表	134	17.2%
各種健康診査予定表	166	21.3%
市民税・県民税申告の手引き	133	17.1%
ごみ収集カレンダー	188	24.2%
ごみの分け方と出し方保存版	181	23.3%
特になし	374	48.1%
その他	17	2.2%
無回答	8	1.0%



【傾向】

・最も電子データが望まれる市の配布物等は、「防災マップ」で26.0%となった。その割合を超えて、「特になし」との回答が約半数であり、紙で読みたい方・確認したい方が多い結果となった。

「その他」の主な回答

- ・スマホがない
- ・従来通りが良い
- ・全て電子データにすべき
- ・班長が広報を配る負担が大きすぎる

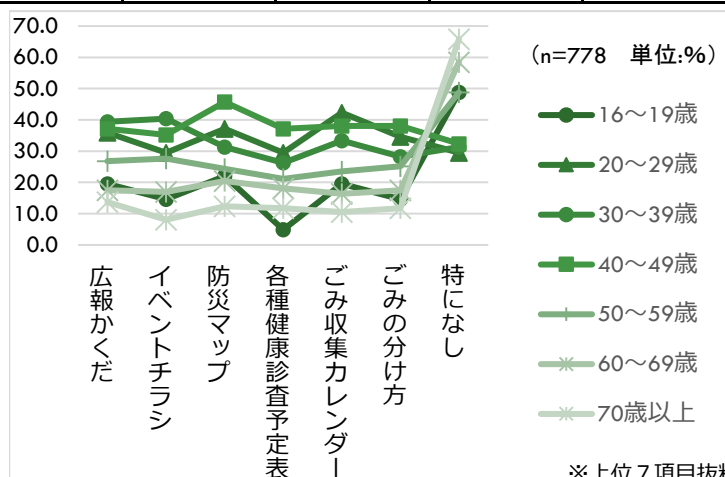
紙ではなく電子データで配信してほしい市発行配布物等 (年齢別集計・上位7項目抜粋)

(n=778 単位:%)

選択肢	n	広報かくだ	イベントチラシ	防災マップ	各種健康診査予定表	ごみ収集カレンダー	ごみの分け方と出し方	特になし
16~19歳	41	19.5	14.6	22.0	4.9	19.5	14.6	48.8
20~29歳	78	35.9	29.5	37.2	29.5	42.3	34.6	29.5
30~39歳	99	39.4	40.4	31.3	26.3	33.3	28.3	31.3
40~49歳	105	37.1	35.2	45.7	37.1	38.1	38.1	32.4
50~59歳	123	26.8	27.6	24.4	21.1	23.6	25.2	48.8
60~69歳	171	17.5	17.0	20.5	18.1	16.4	17.5	58.5
70歳以上	161	13.7	8.1	12.4	11.8	10.6	11.8	65.8

【傾向】

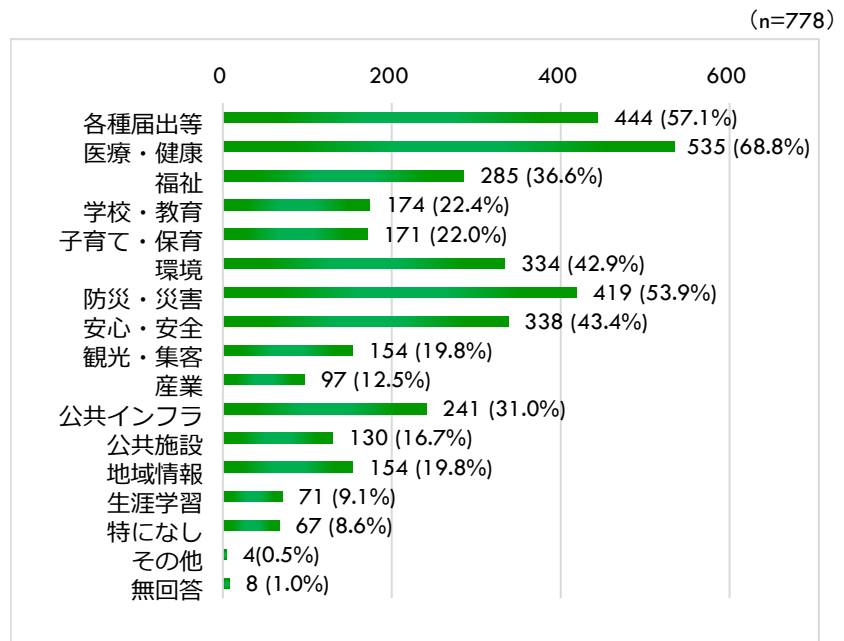
・市発行配布物等について、20~40代の方は、電子データ配信を希望する方が多いのに対し、60代以上の方は、紙で配布することを希望する方が多い傾向にあった。



※上位7項目抜粋

問5-3 行政分野のうち重要なものはなんですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
各種届出等の取得	444	57.1%
医療・健康	535	68.8%
福祉	285	36.6%
学校・教育	174	22.4%
子育て・保育	171	22.0%
環境	334	42.9%
防災・災害	419	53.9%
安心・安全	338	43.4%
観光・集客	154	19.8%
産業	97	12.5%
公共インフラ	241	31.0%
公共施設	130	16.7%
地域情報	154	19.8%
生涯学習	71	9.1%
特になし	67	8.6%
その他	4	0.5%
無回答	8	1.0%



【傾向】

・行政分野のうち重要なものとして最も多かったものは、「医療・健康」で68.8%となった。続いて「各種届出等の取得」で57.1%、「防災・災害」が53.9%であった。

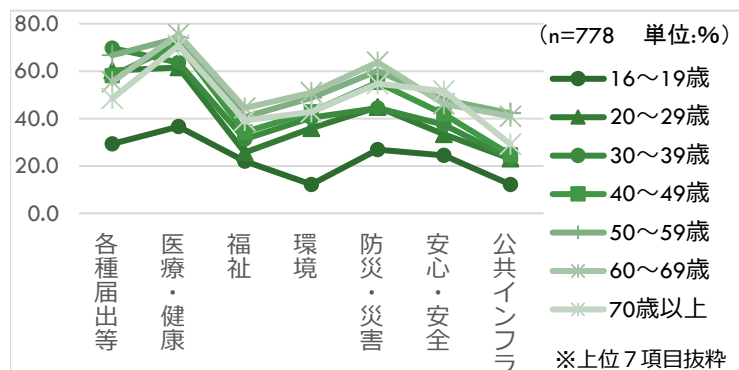
行政分野のうち重要なもの(年齢別集計・上位7項目抜粋)

(n=778 単位:%)

選択肢	n	各種届出等の取得	医療・健康	福祉	環境	防災・災害	安心・安全	公共インフラ
16～19歳	41	29.3	36.6	22.0	12.2	26.8	24.4	12.2
20～29歳	78	60.3	61.5	25.6	35.9	44.9	33.3	23.1
30～39歳	99	69.7	63.6	31.3	40.4	44.4	37.4	23.2
40～49歳	105	58.1	71.4	34.3	42.9	55.2	41.9	24.8
50～59歳	123	66.7	74.0	40.7	48.8	60.2	48.0	42.3
60～69歳	171	55.6	75.4	44.4	50.9	63.7	46.2	40.9
70歳以上	161	48.5	70.8	39.1	42.9	54.7	51.6	29.2

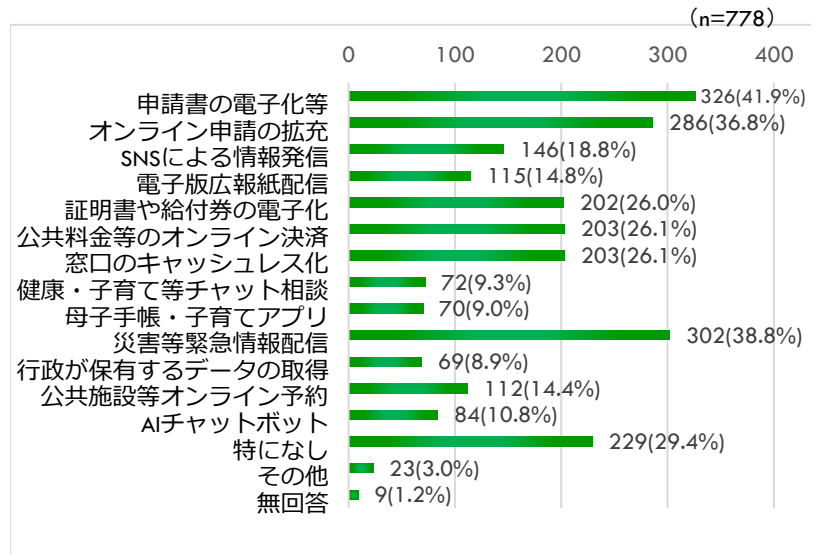
【傾向】

・年代が上がるほど、「医療・健康」や「防災・災害」といった、生命に密着した分野の項目に高い割合を示した。



問5-4 行政手続きや行政サービスのうちデジタル化を期待するものはなんですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
申請書の電子化・添付書類削減	326	41.9%
オンライン申請の拡充	286	36.8%
SNSによる情報発信	146	18.8%
電子版広報紙配信	115	14.8%
証明書や給付券の電子化	202	26.0%
公共料金等のオンライン決済	203	26.1%
窓口のキャッシュレス化	203	26.1%
健康・子育て等チャット相談	72	9.3%
母子手帳・子育てアプリ	70	9.0%
災害等緊急情報配信	302	38.8%
行政が保有するデータの取得	69	8.9%
公共施設等オンライン予約	112	14.4%
AIチャットボット	84	10.8%
特になし	229	29.4%
その他	23	3.0%
無回答	9	1.2%



【傾向】

- ・行政手続き等でデジタル化を期待するものとして最も多かったものは、「申請書の電子化・添付書類削減」で41.9%となった。続いて「災害等緊急情報配信」で38.8%であった。
- ・約3割の方がデジタル化を望まない「特になし」を選択

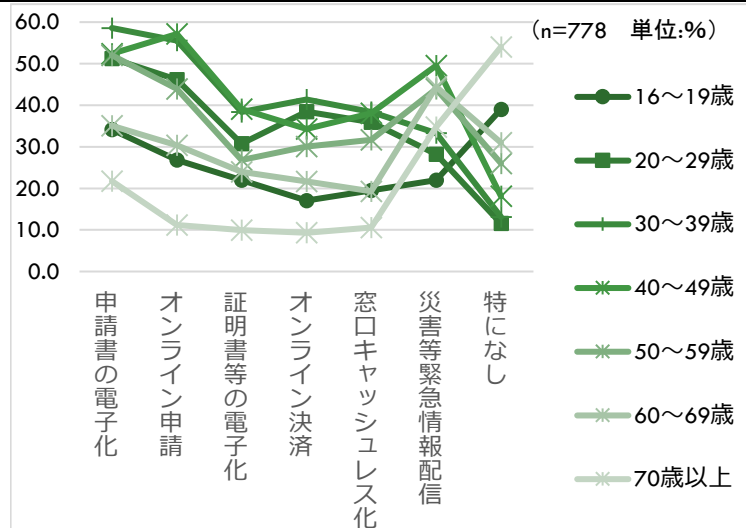
行政手続き等でデジタル化を期待するもの(年齢別集計・上位7項目抜粋)

(n=778 単位:%)

選択肢	n	申請書の電子化・添付書類削減	オンライン申請の拡充	証明書や給付券の電子化	公共料金等のオンライン決済	窓口のキャッシュレス化	災害等緊急情報配信	特になし
16～19歳	41	34.2	26.8	22.0	17.1	19.5	22.0	39.0
20～29歳	78	51.3	46.2	30.8	38.5	35.9	28.2	11.5
30～39歳	99	58.6	55.6	38.4	41.4	38.4	33.3	13.1
40～49歳	105	52.4	57.1	39.1	34.3	38.1	49.5	18.1
50～59歳	123	52.0	43.9	26.8	30.1	31.7	43.9	26.0
60～69歳	171	35.1	30.4	24.0	21.6	19.3	44.4	31.0
70歳以上	161	21.7	11.2	9.9	9.3	10.6	34.8	54.0

【傾向】

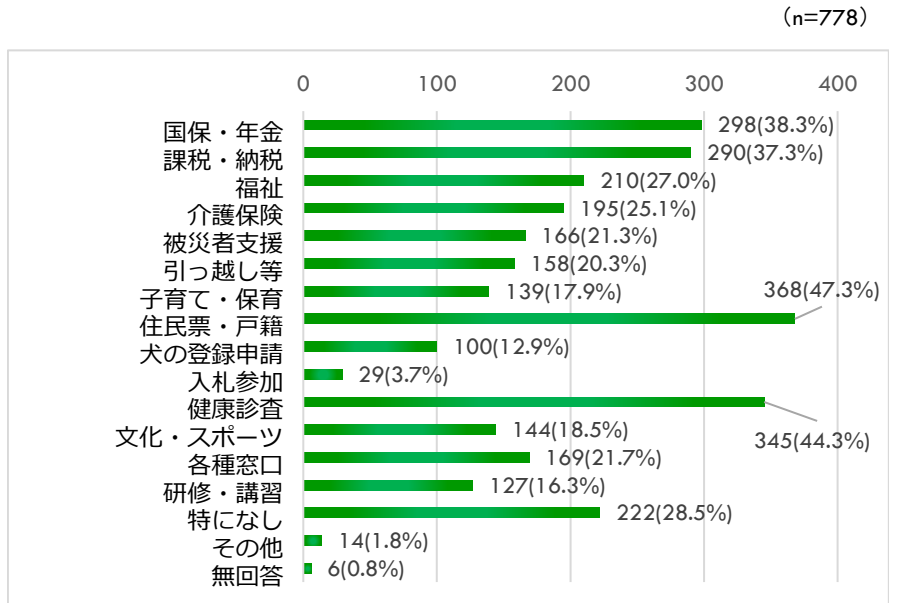
・行政手続き等でデジタル化を期待するものについては、20～50代の半数以上の方が「申請書の電子化・添付書類の削減」を望んでいるのに対し、70歳以上の方は、行政手続きのデジタル化を望まない方が半数以上を占めた。



※上位7項目抜粋

問5-5 行政サービスのデジタル化により、どのような手続きが自宅等で申請・予約できることを期待しますか。（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
国保・年金	298	38.3%
課税・納税	290	37.3%
福祉	210	27.0%
介護保険	195	25.1%
被災者支援	166	21.3%
引っ越し等	158	20.3%
子育て・保育	139	17.9%
住民票・戸籍	368	47.3%
犬の登録申請	100	12.9%
入札参加	29	3.7%
健康診査	345	44.3%
文化・スポーツ	144	18.5%
各種窓口	169	21.7%
研修・講習	127	16.3%
特になし	222	28.5%
その他	14	1.8%
無回答	6	0.8%



【傾向】
 ・自宅等にいなから、申請・予約できることを期待する行政手続きについて最も多かったものは、「住民票・戸籍」の申請で47.3%、続いて「健康診査」の予約で44.3%、「国保・年金」の手続きで38.3%であった。

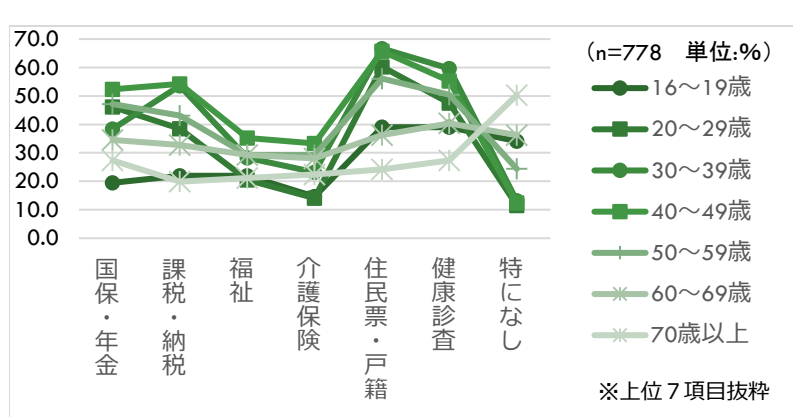
行政手続き等でデジタル化を期待するもの（年齢別集計・上位7項目抜粋）

(n=778 単位:%)

選択肢	n	国保・年金	課税・納税	福祉	介護保険	住民票・戸籍	健康診査	特になし
16～19歳	41	19.5	22.0	22.0	14.6	39.0	39.0	34.2
20～29歳	78	46.2	38.5	20.5	14.1	60.3	47.4	11.5
30～39歳	99	38.4	53.5	28.3	23.2	66.7	59.6	13.1
40～49歳	105	52.4	54.3	35.2	33.3	65.7	55.2	12.4
50～59歳	123	47.2	43.1	29.3	29.3	56.1	50.4	24.4
60～69歳	171	34.5	32.8	29.2	28.1	36.3	40.4	36.3
70歳以上	161	27.3	19.9	21.1	22.4	24.2	27.3	50.3

【傾向】
 ・各年代共通して「住民票・戸籍」の申請及び「健康診査」の予約が上位を占めた。

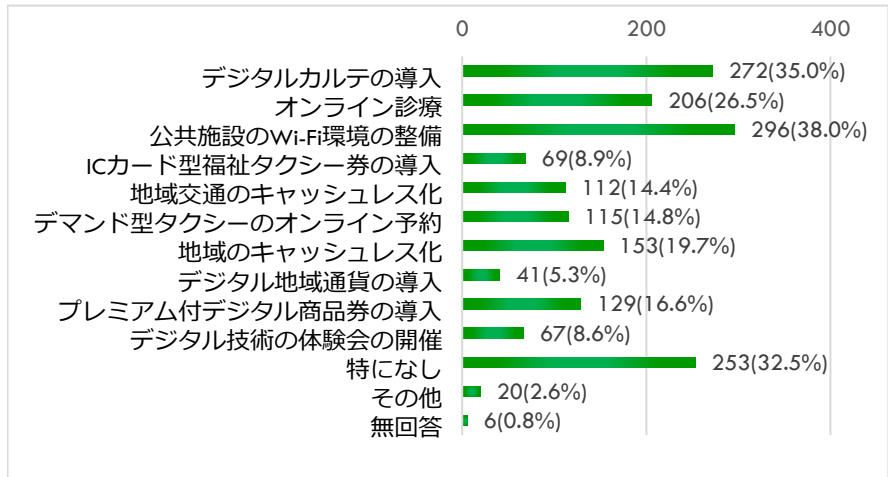
「その他」の主な回答
 ・全てデジタル化にすべき
 ・デジタル化についていけない
 ・情報の取得で不平等が出ては困る



問6 地域のデジタル化に期待することはなんですか。(複数回答可)

選択肢	回答数	割合
デジタルカルテの導入	272	35.0%
オンライン診療	206	26.5%
公共施設のWi-Fi環境の整備	296	38.0%
ICカード型福祉タクシー券	69	8.9%
地域交通のキャッシュレス化	112	14.4%
デマンド型タクシーのオンライン予約	115	14.8%
地域のキャッシュレス化	153	19.7%
デジタル地域通貨の導入	41	5.3%
プレミアム付デジタル商品券の導入	129	16.6%
デジタル技術の体験会の開催	67	8.6%
特になし	253	32.5%
その他	20	2.6%
無回答	6	0.8%

(n=778)



【傾向】

・地域のデジタル化について最も多かったものは、「公共施設のWi-Fi環境の整備」で38.0%、続いて「デジタルカルテの導入」で35.0%であった。

行政手続き等でデジタル化を期待するもの(年齢別集計・上位8項目抜粋)

(n=778 単位:%)

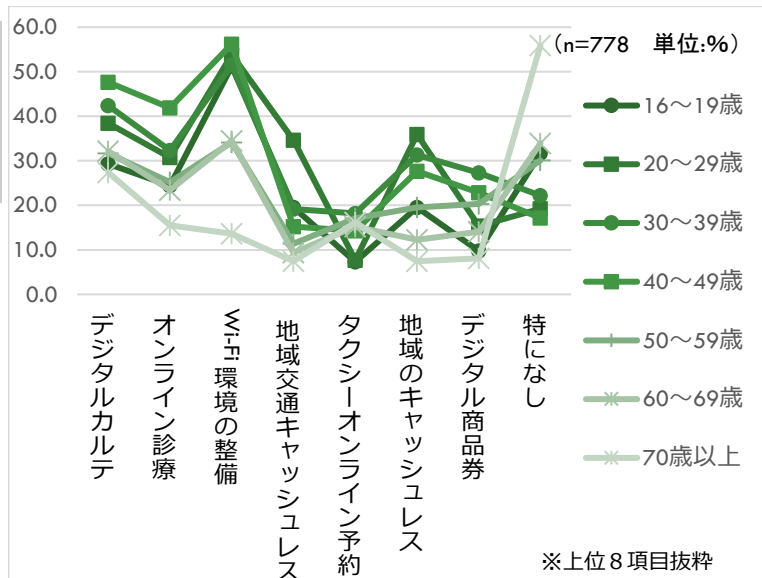
選択肢	n	デジタルカルテの導入	オンライン診療	公共施設のWi-Fi環境の整備	地域交通のキャッシュレス化	デマンド型タクシーのオンライン予約	地域のキャッシュレス化	プレミアム付デジタル商品券の導入	特になし
16~19歳	41	29.3	24.4	51.2	19.5	7.3	19.5	9.8	31.7
20~29歳	78	38.5	30.8	53.9	34.6	7.7	35.9	15.4	19.2
30~39歳	99	42.4	32.3	51.5	19.2	18.2	31.3	27.3	22.2
40~49歳	105	47.6	41.9	56.2	15.2	14.3	27.6	22.9	17.1
50~59歳	123	31.7	25.2	34.2	11.4	17.1	19.5	20.3	30.1
60~69歳	171	32.2	23.4	34.5	9.4	15.2	12.3	14.0	33.9
70歳以上	161	27.3	15.5	13.7	7.5	16.2	7.5	8.1	55.9

【傾向】

・10~40代の半数以上が「公共施設のWi-Fi環境の整備」を期待している。

「その他」の主な回答

- ・高齢者にとってはデジタル化に対応できない。
- ・全てデジタル化・紙の利用削減
- ・手続きを24時間可能にしてほしい。



IV 角田市のデジタル化についてご意見がありましたら、ご記入ください。

10代の意見

Wi-Fiを学校でも使えるようにしてほしい。

角田市の学生一人一人にタブレット

デジタル化を進めることでメリットもいっぱいあると思いますが、高齢者やスマホの扱いが苦手な人にとっては難しい点もあるなと思いました。

防災マップなど命に関わる物はデジタル化してしまうと中々目につきにくくなってしまうと思うのでデジタル化にしないほうが良いと思います。

デジタル化の推進を望みます。

自分のような若い方は良いと思うが、お年寄りの方々、インターネットを使ったことがない方はどうするのでしょうか。自宅で教えてと言われれば教えたり、代わってやってあげることはできると思います。

ネットで個人情報が盗まれるなど、怖い面がすごく心配です。クレジットカードは持っていませんが、今後のことを考えると心配です。

先日、ネットバンキングで通帳から残高がなくなると家族で話をしていました。通帳番号などを他人に教えてはダメと言われました。

デジタル化になると、誰を信じて良いのか(使い方を教えてもらうときなど)自分が判断をしないといけないと思うと怖いです。

ただ、色々な情報(イベント、手続きの仕方など)が、紙で手元にあるとは限らないので、スマホで見られると良いです。角田市民以外の方からも見てもらえると思います。

大学で自分の住んでいる所を見てもらえたりすると、話もしやすくなります。PRにもなると思います。

20代の意見

デジタル・ディバイドの問題を考慮しつつ、政策を推し進めていくべき。

とにかく紙媒体を無くしてほしい。

仕事をしていると市役所の時間で申請をしにいけないといけないため時間を要することが多くあります。高齢者が多く、デジタル化に対応出来るかは別とし、マイナンバーカードで申請出来るもの等デジタル化してもらえるといいです。

会社でもコンビニ支払い等を検討しているため、その先駆けとして各税金の検討を希望。また、デジタル化の検討があるのであれば、高齢者やスマホ初心者への無料の講座を行うべき。高齢者が多い角田市でデジタル化は手数料の高くなった金融機関、遠くからタクシーなどを使い、支払いへ来る人たちへの負担が減ると同時に、そのたくさんの高齢者にもわかりやすく、使いやすく、さらにそれで定着させる必要もある。それらを踏まえてデジタル化を検討してほしい。

角田市3割増商品券の販売はデジタル化になりませんか。販売日に会社が休みでなければ買いに行けません。先着優先販売は、いかがなものでしょうか。平等ではないと思います。

デジタル化、便利の良さでは賛成ですが、我が家の母のように機械(端末等)の操作が得意ではない人もいます。停電時には、全てストップしてしまう可能性も…と思うと不安な面も。デジタル化とともに、アナログの良いところを残す?！選べる?体制が必要かと思います。震災時、情報の共有が難しく、水の配布?も知らない方、知っていてももらいに行けない方が多くいました。

ごみの集積所等(地域住民のほぼ必ず行く場所・目に留まる場所)に掲示板を設置し、常に地区の情報、市・県・国の最新の情報を地区の人が確認できる状態にしておく必要があるのではと思っています。

デジタル化とあまり関係がないかもしれませんが、ミサイルが発射されてしまった時の避難の仕方、訓練等が分かりやすく載っていると助かります。

電車がキャッシュレスで乗ることが出来れば便利であると思います。切符が無くなり、スマートフォンのみで精算が可能になれば理想かなと考えます。

お菓子屋さんや飲食店でスマホ決済や楽天エディで払うことになれば、お金を持ち歩かなくてもよいので便利です。今後、住みやすい街を作って頂けるように期待しています。

今回は調査対象に選んで頂きありがとうございました。

デジタル化は時代のニーズが高まっていて、とても重要な事だと思う。

若い世代や普段、電子機器に触れていて使っている人なら、とつてもありがたいけど、お年寄りや支援が必要なんじゃないかと思う。便利な反面、どこかから情報がとられてしまったりすることが本当にないのか少し不安。

デジタル化が進んだらもっと便利になると思うので、頑張ってください。応援しています！！

角田市図書館でWi-Fiを利用できるようにしてほしい。大学の課題は基本パソコンで入力し提出するため、図書館でも課題ができる環境を整備してほしい。

30代の意見

角田市のように高齢者が多い街にとって、デジタル化についていけない層が多くなってしまわないか、心配です。

小学校、中学校の体育館をスポーツ少年団でお借りしているが、月報告等、直接行くか、ファックスでの報告しかない。若い世代でファックス保有率はどんなものなのか。わざわざ休みを取って提出しに行っている。

せめて、メールでの提出を可能としてほしい。

住民票等のデジタル申請等導入などハード面にはお金がかかると思うが、まずは、時代にあった対応方法の見直しなどソフト面も含めて一つ一つデジタル化をしてほしい。

このようなアンケートで何が分かるのか不明。理解した気になるだけで本当に求められるものや必要なものが分かるとは思えない。

全部が全部デジタル化にするメリットはないと思います

色々なものがデジタル化されている中で角田市のお店は遅れていると感じる事が多い。

地域の商店には補助金など出して導入したり工夫をしても良いのではないのでしょうか？

医療機関が少ないのでオンライン診察なども検討いただけると嬉しいです。

いまだにキャッシュレス決済を導入していないお店が多い。

現代それ次第でお店を利用するかの判断基準になるとも多いので、個人店などのお店でキャッシュレス決済を導入するメリットを増やすことを、支援したら良いと思う。

デジタル化し、利便性が向上する事は大賛成です。ですが、情報漏洩等の危険が伴うと思うので、セキュリティにも力を入れて頂きたいです。

ためとくカードなどをアプリにしてほしい。

デジタル化の前提として、各自治体の課題であるとは思いますが、無駄と思われるバックオフィスを含む業務や施策が多すぎるのではないかと推察します。そのような取捨選択を真剣に踏まえていただき、デジタル化の推進を期待

します。また、地方自治体独特のゼネラリスト人材の育成手法による高頻度及び広範の人事異動は専門性の希薄を招き、市民へのサービスの向上とデジタル化による標準化を目指す上で足かせとなるのではないかと考えます。デジタル人材の必要性が増すことを考え、デジタル化には人事の再考が必要不可欠ではないでしょうか。

意見については議員並びに職員の皆様にも必読していただきますことを希望します。

市からの情報について

アンケート内にもありますが、行政の情報を得るために能動的になることがあまりありませんので、LINE 等のプッシュ型通知による受動的な情報提供と紙媒体による通知や刊行物の削減、チャットボットによる問い合わせ、電話の自動応答、また、近年増加している外国人向けにも多言語対応型の情報提供を希望します。

子供の見守りについて

IOT 活用の子供の見守りなどスマートシティ化を希望します。

その他

実証実験などがあれば手を挙げていただくことや、デジタル技術に関連するスタートアップなどへの支援を検討いただくなど、デジタル化された街をひとつの特色として、一番を目指していかれることを期待します。

とりあえずデジタル化を早くして

紙やノートで区の回覧板や掃除当番など不定期に回ってきますが、長期帰省して家を空ける場合や旅行、入院などでうまく回らなかったりいつ自分の家に回って来るか全く予想できないのでとてもプレッシャーでストレスを感じます。我が家は次の家のポストが小さく、不在時にはわざわざ袋に入れて回さなければならないので手間と費用がかかっています。

デジタル化にしてもらえたら回覧板はペーパーレスでできるし、掃除当番はいつ自分のところに順番が回ってくるかわかるから予定も立てやすく、仕事もしているので本当に助かります。強く希望します。

本人の後見人である兄が本人内容と後見人としての回答をしました。

水道料金の支払いと納税はスマホで出来る、クレジット支払い(大手の QR コード決済会社の決済含)を可能にしてほしい。

子育て分野は、該当する人の年齢がスマホに慣れている年齢が多いからデジタルを普及すべき。

デジタル化は先駆けてやるべき。いずれデジタル化にしなければならぬから。

角田市は県内でも取り組みがとても遅いと感じる。

最先端の取り組みや技術に付いていけるように努力してほしい。

質問構成に論理的な誤りが散見されるアンケートであり、取り組み姿勢自体を疑う。

デジタル化にすると、様々な点で便利ですが、Wi-Fi 環境を整えないと使えないし、老人たちには難しいでしょう。

みんな使えるよう、使いやすいよう Wi-Fi の補助金などを考えてください。

学校のタブレットが配布されていますが、きちんと Wi-Fi について、国・市で平等に使えるよう、Wi-Fi がない家もあることを考えてほしい。マイナンバーについても申請したいですが、イマイチ情報が漏れてしまわないか、とても不安なところです。

市も頑張っているかと思いますが、便利になることで困ってしまう人もあることを知って頂きたい。

オンライン診療は賛成です。待ち時間の短縮になりますので。

今後の角田市に期待しています。

広報で来年からコンビニで住民票などが取得できるようになると知り、とても便利になり、ありがたいなと思いました。行政区回覧もオンラインにして頂けると、とても助かります。

ご検討、よろしくお願ひいたします。

広報など地域で各家庭にわざわざ配付しに行くのが大変(周囲との付き合いがない、時間がない等)であること、回覧板や自治体だより、防火クラブの火の用心など、デジタル化した方が行き届く世代が増加しているなどがあるため、早々に着手してほしい。

年配の方でも利用しやすい状況になると良いと思います。

現状、小坂では、集金をまだしているようなので、心配な面があります。地域の皆さんが高齢になっているので。

高齢者へのデジタル化に対しての抵抗が無いか心配。デメリットもきちんと考えてほしい。デジタル化にあたり、人員の削減にもなるはず。

40代の意見

早めの最新のデジタル化を取り入れ、便利な住みやすい地域になる事を期待しています。

google と AMAZON が、角田を「ツノダ」と呼びます。「カクダ」に訂正するよう連絡すると良いと思います。

近隣の町より遅れていると思います。少子高齢化だとしても時代に沿ったものを入れなければ若手の転出はますます進むのでは？と思います。

デジタル環境を親しみやすくする機会を増やして行くことも大切と思う。

デジタル化の推進拡大は望ましいが、2025年問題と照らし合わせてどの部分をデジタル化する事が望ましいかよく検討して頂きたい。一般市民向けは後期高齢者でも操作が簡単で解りやすくしなければ、公共デジタルサービスは普及しないと思う。別自治体と比較するとホームページの更新も遅く、若年～中年世代もペーパーの広報や窓口対応に頼らざるを得ない現状…。3年後には少子高齢化の第1次危機が待っている。行政に危機感はあるのかと疑問に思う。机上の空論ではない政治に期待したい。その先の超高齢社会に、現状の角田市が生き残れる感はない。

回覧板や広報等のデジタル化にて、班長さんの手間を省くことと、紙や印刷等の削減を希望・期待します。

各分野についてデジタル化が拡大すれば大変便利だと思いますが、それによって普段デジタル化に慣れていなかったり使いこなせないご年配の方々が不自由になってしまわないよう、従来の仕様とデジタル化がバランス良く両立して利用できると良いと思います。

少し前に白石市は3割増商品券を paypay で対応していますし、角田市の水道料金は銀行引き落としのみの支払いなどデジタル化の遅れをかじます。

回覧板などを特にデジタル化してほしいです。班長になると、あまりにも煩雑なチラシ配りやチラシ分配の手(!?)作業、特に区費の現金(!?)回収を行っている現実を知ってほしいです。区費はご老人世帯は自動引き落とし or コンビニ払い、若者は Paypay などで送金できるようにしてほしい。

私はそれがネック自治会の退会を切実に切実に検討しています。

地域の負担を減らしてほしいです。もし、これがクリアされたら班長でもなんでもやりたいです。

『回覧板を廃止してほしい』 <https://royal-yotsuya.net/no-need-for-circulation-board/>

「自治会加入は任意」 <https://www.idojimu.jp/dattai>

若い世代は良いが、年配世代はデジタル化にはついていけない。そのため、デジタルとアナログの両対応が必要となり、コスト増が考えられる。ふるさと納税を活用し、対応いただけますと嬉しいです。

若い世代はデジタル化に対して慣れているが、そうではない世代だっているため、全部がデジタル対象になってしまうと固まってしまう。

年寄りがパソコン・スマートフォンを使いこなせない人、持っていない人だっている身近にいます。

その人のニーズで対応してくれればありがたいです。

各種証明書が電子申請できると良いです

行政サービスの24時間化。平日の17時まででは、用事があるとき仕事を休まなくてはならないから。しかも土日は休みで利用しづらい。

窓口に行っても、順番待ちしている人がいないのに待たされる。

利用しづらく時間の無駄。

ネットでできることがあるなら、そちらに切り替えてほしい。

デジタル化には賛成だがデバイスを持ってない(金銭的な理由などで持てない)人の立場も考えるべきだと思う。

行政手続きやサービスが“デジタル化”されることで効率化かつコスト削減がかなうのであれば、とっても良い事だと思います。

<p>私は、まだまだデジタルに鈍く、わからないことだらけですが、地域でどんどんデジタルカが進んでいけば、子ども達の未来も今よりすごく良くなると思いますので、私も頑張っついていきます。</p> <p>デジタル化が進むことを応援しています。</p>
<p>選挙の投票もデジタル化にしてほしい。もしくは市役所や投票所に行かなくても、スーパーやコンビニなどで投票できると良い。</p> <p>全てをデジタル化にすると、年寄りには使えないので、すべて頼まれるので若者が面倒になる。</p>
<p>パソコン教室をぜひ開いてほしいです。</p> <p>子供たちも学校で学びます。デジタル化にするのであれば、なおさらだと思います。検討をお願いします。</p> <p>ペーパーレスは、それが出来てからかなあ〜と。</p>
<p>何でもデジタル化するのも良いのかもしれないが、これからどんどん高齢化が進むのに、覚えられるのだろうか心配になる。</p>
<p>いろいろな手続きを手動でもインターネットでも両方できるようにしてほしいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・県だと思いが…障害者の等級の見直し ・福祉用具等の給付券のデジタル化を金額アップへの見直し(他県と比べて宮城県は低いし、給付券では賄えず、自己負担金が多い状態の方が沢山いらっしゃいます。)
<p>年配の方もいるので、今まで通り紙ベースのサービスも残してほしい。</p> <p>その他、仙台市と同等のサービスが受けられるようになると助かります。</p>
<p>オンライン診療について、高齢の方でもボタンを押せばつながるアプリのようなものから診療→必要あればタクシー予約とか病院へ行く必要があるか診断して動く。家族にも通知が送信されるような環境があると、老いてからも角田市に住んでいても安心みたいなものが欲しいです。自分も老いが来ていて、考えるようになってきたので…。</p>
<p>デジタルも良いが、一人一人危機を使いこなせる技量に違いがあります。パソコン、インターネットを使いこなしている方もいれば、いまだに連絡ツールが電話機のみの方もいる。その人それぞれにレベルが違うので、皆に周知して上手に活用できるよう、それぞれにもれなく手を差し伸べて、使い方の説明や活用方法など、寄り添って教えてほしい。その人の身になって考え、対応してほしいと思います。期待しています。</p>
<p>デジタル化、とても良いことだと思います。回覧板とか見なくても良いことばかり書いてあって、紙がもったいないと思っていました。多少、お金は掛かっても角田市から全世帯へタブレットを配って設置と説明をした方が先の事を考えると良いと思います。最初は大変でも、仕事も人も増えるから良いのではないのでしょうか？紙等にお金を使うよりは、分かりやすいし、無駄なことも省けるのでいいです。</p> <p>デジタル化の案を考えた人は、とても頭の良い人ですね。是非、実現して欲しいと思います。お年寄りは反対すると思いますが、実際デジタル化したら面白いと思います。本当に良い案です。宜しく願いいたします。</p>
<p>水道料金をクレジット支払い OK にして下さい。毎月ゆうちょに移すのが大変です。(口座振替でも ネットバンクなど不可で不便です。)</p> <p>乗合タクシーラビットくんの予約の仕方がわかりません。先月、利用しようと思ってスマホで検索したのですが、予約の仕方にたどりつけず、予約できませんでした。これでは一部の方しか利用できません。ラビットくんの予約をデジタル化して、前日の夜でも予約できるようになれば利用率は上がると思います。</p> <p>集団検診の日程が検索してもわからず困りました。例えば今ですと「角田市大腸がん検診日程」で検索すると、角田市ホームページで「現在掲載されている情報はありません」と出ます。私はまだ大腸がん検診を受けていないのですが、もう終わってしまったのか？それすらわかりません。角田市は検索してもわからない事が多すぎです。</p>

50代の意見

<p>早期導入の推進をお願いします。</p>
<p>高齢者になるとデジタル化について行けず窓口で相談しながら確認するという方もおります。全てデジタル化にせず窓口対応も残して下さい。</p>
<p>日頃のお仕事お疲れ様です。</p> <p>時代の流れでデジタル化やキャッシュレス化が推進されていますが、どうしてもお年寄りが取り残されます。かつ、高齢化社会です。自分はまだ働いていますので、出来る、出来ないにかかわらず、どんどんデジタル化されていますが、基本アナログ人間です。</p> <p>まずは各コミュニティごとに、デジタルの勉強会か、パソコンの講習会を入口にして慣れることが先だと思います。</p> <p>その後で水道や税など角田市でキャッシュレスが進むと(自動車税は大変便利です。)とても便利になると思います。</p>

<p>私もまだ知らないことが多いので、ホームページで確認します。</p> <p>若い人がもっと増えるといいですね。</p>
<p>デジタル化も進むと便利になるが、使いこなせるのか等、不安要素も多いです。特に説明書があっても使いこなせて慣れている人が作る説明書は、使えない人には分かりにくい場合が多いので気を付けてほしいです。</p>
<p>誰もが明確に分かりやすく。</p>
<p>高齢者に向いていないのでは…</p>
<p>コスパを最優先にて実施</p>
<p>デジタル化もいいのですが、高齢者も多くいますので、あまりデジタル化にするのはいかがなものかと。</p>
<p>高齢化社会なので、デジタル化のみになるのは逆に良くないと思っています。利用者が選択でき、かつ便利なものを使用できればベストなものと。また、デジタル化するためには、説明は分かりやすくあって欲しいと思います。税の事や保健に関する事はただでさえ難しいので… オンラインでの申請や届出ができるようになると、働いている者としてはとても助かるので、今後に期待しています。頑張ってください。</p>
<p>デジタル化よりも、手代木沼に蓮がなく、白鳥がいないことのほうが問題だと思います。あのままにしてるのが信じられないです。引っ越してきてびっくりしました。</p>
<p>以前、役場で、マイナンバーカードと、デジタル化の計画進捗について、質問したところ「角田は、田舎だから、やんないね！」と言われてしまいました。</p> <p>マイナンバーカードと、デジタル化の紐付きを、角田市が進めることでの、角田市民のメリット(特に、高齢化に依る、高齢者と家族の福祉普段軽減と、若者を呼び込む、住みやすい角田市の PR が必要！)</p> <p>デジタル化の取り組みと、過疎化対策、財政対策は、共通の部分が多いと思います。</p>
<p>マイナンバーカードとの紐付けをお願いします</p>
<p>市役所に行かなくてもいろんな手続きが出来るようになると住みやすい街になると思います。</p>
<p>デジタル化といわれても、パソコンやスマートフォンなど苦手な人は、まだまだ沢山います。今まで通り紙での申請や、料金等支払いも現金での支払いのままでもいいです。なんでもかんでもデジタル化するのは反対です。</p>
<p>平日等、役所に足を運ぶことができない方々の為に証明、届出、申請、支払い等、24 時間コンビニで取得・支払いできると良いと思います。</p> <p>紙の資源の削減等を含め、現在、地区等で配布している広報かくだや回覧等、デジタル化にするのが理想かと思えます。スマホやパソコンができない使用しない高齢者等には、紙面での配布が良いと思います。</p> <p>これからの時代、デジタル化は必須かと思えます。メリット・デメリットはあるかと思えますが、良い流れを作る為に宜しくお願い致します。</p>
<p>角田市は、行動に移すのがいつも遅い。だから今回のデジタル化もいつ現実になることやらと期待してない。</p>
<p>角田市、街頭や設備にカメラを設置し、監視システムを導入してほしい。困り事、交通事故防止対策を検討してほしい。</p> <p>デジタル化の前に、角田市のエネルギーについて、これまでの化石燃料で良いのか検討してほしい。</p>
<p>デジタル化も大切だとは思いますが、今までと同じアナログ対応も引き続き継続していただきたいです。お年寄りの方としては便利になりすぎて、逆に不便になる方もおられると思いますが…</p>
<p>行政サービスのデジタル化について、分かりにくいものに関しての手続き等は、直接、伺いながらの方が安心します。得意、不得意があります。ご了承いただくとありがたいです。</p>

<p>全てデジタル化にしてしまうと、個人情報が洩れてしまうのではないかと心配です。</p> <p>デジタルに慣れていない方、パソコン・スマホなど持っていない方にも分かりやすく丁寧に説明など配慮をしていることも広報してほしいです。</p>
<p>デジタル(先進的というニュアンス)とアナログ(身化しながらのやり方)をバランス良く使えるよう考えて頂けたら有り難いです。</p> <p>使う側の立場に立っていただき、安心・安全なものであることが大事なことだと思います。</p>
<p>情報管理の徹底に努めてほしい。高齢者でも分かりやすい利用方法が必要だと思う。</p>
<p>中高年対象に「IT パスポート」の講習(安価)で開いて頂きたい。</p> <p>他のデジタル化にも中高年へのサポートしてほしい。</p>
<p>今の時代、デジタル化が当たり前みたいな動きになっているが、個人的には反対です。</p> <p>①個人情報の流出、不具合、アップデートのたびに情報の再入力など、まだまだたくさん問題がある。</p> <p>②デジタル化したからといって、どれ位の人が利用し楽になるのか。</p> <p>③一人暮らしの老人、目の不自由な方など、どうやってデジタルを使用する？</p> <p>など、色々なことを考えます。</p> <p>例えば、デジタル化したとして、分からない人が 100 人いれば、100 人に分かるように教えてくれるのかとか。</p> <p>デジタル化は絶対反対組です。</p>
<p>市内全域の Wi-Fi 化が必要。</p> <p>デジタル化の遅れは、弱者離れを加速させる大きな要因と考えています。損して得とるならば、デジタル化が急務と感じます。</p> <p>また、市内観光の充実化、集客を図るいいならば、AR 観光アプリ、QR コードによる観光マップ、商業・飲食店の決済(全店舗)促進を切に願います。</p>

60 代の意見

<p>自治会などの連絡や配布物など出来るだけデジタル化して余計な仕事をもっと効率的にしていくべきだ</p>
<p>地域の高齢化で、デジタル化を推進するのは難しいという意見もある。しかし、発想を転換すれば高齢者の生活をデジタル化で楽にする方法もたくさんある。医療や見守り、生活支援などで、相当効果も期待できると思う。高齢者でも気軽に活用できる技術がどんどん進歩してくるはずである。また、youtube などを利用すれば、今までテレビなどで一方的に押し付け的に流されてきた情報から、自分が選択した好きな情報を見聞きできる新しい世界に入ることができる。そうすればより豊かな人生を送ることができるはずである。</p>
<p>デジタル化をすることで利用できる人とできない人の差が広がるような気がします</p>
<p>自分が必要と思わない事はデジタル化になっても利用しないので、自分と同じ考えの人が何人いるかを調査した方が良いのでは？</p>
<p>現在は特になし</p>
<p>まずは、マイナンバーカードで住民票等の書類が取れるようにして貰いたいです。仙台市なんか、とくにマイナンバーカードで取れるとのこと</p>
<p>紙類のゴミを減らすためにも一部分でも始めていただきたい。</p>
<p>デジタル化が進むのは分かります。便利は良いことだと思いますが、人と人の対面で分からない時教えてもらえることが、私は安心できます。</p>

デジタル化を早くしてもらいたい。
担当する方々、ご苦労様です。
アンケートの結果を市民にフィードバックしてください(回答者には必ず) デジタル化を早急に実施してほしい。 デジタル化の日程計画を公表してください。
高齢者世帯などはデジタル化は難しいと思いますが、世帯で選択や使い分けできればペーパーレスできるものがたくさんあると思います。
デジタル化はいいが、高齢者は苦手な分野なので、懇切丁寧なフォローが必要である。
若い人と生活してなくて、パソコンとの関わりが無いもので、デジタル化されると難しいところがあるので不安を感じます。
マイナンバーカードやポイントの取得の手続きを丁寧に教えていただき、大変有難く思いました。担当の方ありがとうございました。 また、ワクチン接種についても変更のお願いをしたところ、電話で丁寧に対応していただき、おかげ様でスムーズに接種することができました。 デジタル化の重要性、必要性も分かっているつもりではありますが、デジタル機器に精通していない者のために、電話や窓口等、直接対応していただける部分も残しておいていただけると、安心でき心強いです。 このように市民の意見を拾い上げていただく場を設けていただき、ありがとうございます。
デジタル化、キャッシュレス化は賛同しますが、高齢者の中には拒否反応を示す人も多くいると思われます。 デジタル化、キャッシュレス化に移行しても、現行のやり方は無くさないでほしいと思います。
始めて聞く言葉ばかりで理解できないし、理解する機会もない。 スマートフォンでも利用するのは、電話・ラインぐらいで、いまいち使用が難しいです。 年配者にとって、理解して使用するということは、一人では無理だと思います。 市独自の誰にも分かりやすいデジタルとは何か考えてほしいと思うし、便利と不便との違いを考えてほしいと思う。 高齢者には、理解しにくいデジタルと思います。
市民の 意見が自由に言える欄があるといいと思います。
角田市のホームページが使いづらいので改善して頂きたい。 他のホームページは分類方法が解りやすく、検索しやすい。 本来、資料を分類する時には、大分類→中分類→小分類→詳細(欲しい情報)にすべきなのですが、角田市のは分類が理解しづらい。 以上 年寄の小言です
IT のリテラシーが低すぎると思われる。特に窓口での名前の呼び出し、本人確認方法。 また、職員個人のカメラ付き携帯電話の職場への持ち込みなど個人情報にたいする漏洩対策がされているか。デジタル化について業者まかせになってはいないか？トラブルが起きた時など心配です。
年を重ねるとデジタル化が必ずしも良いことなのかな？と疑問になります。なぜなら、上手く使いこなすことができるだろうか？と不安になります。
デジタル化もペーパーも両方必要だと思います。人不足や予算問題は、ボランティアの活用を！（交通費は出してほしいです）

今まで、パソコン等を使った職業についていなかったため、使いこなせない。デジタル化になると私みたいな者は、たぶん困ると思います。いろいろ問題が起きて、怖くて仕方ありません。

マイナンバーカードを取得してから大分時間が経過しているが、角田市においては未だ何も利用できない状況である。

速やかに、色々なことに利用できる環境を図って頂きたい。

支払いが多いので生活が苦しい。毎日悩んで夜もなかなか寝られません。毎日続きます。どうか、考えてくださいませんか。

若い方は対応でき便利だが、年配の方には不便

職員の皆さんが角田市民の為にしてもらえるのならいいです。

世代格差による不平等が生じることのないよう、くれぐれもお願いします。若い世代はデジタルに近いんでしようが、なんでも自分が申請しないと(年金も)おりないとか、困らないよう、情報が手元に来ない状態にならないようにしてください。

時代に乗り遅れてパソコンなどの機械が使えません。デジタル化は必要と思いますが、対応できないので心配です。

デジタル化を推進するために、市民がパソコン等を購入する必要がある場合、費用(購入費・通信費)の負担が大変になるのではないかと心配です。今後、高齢化が進み、一人暮らしも多くなってくるとデジタル機器を利用できない市民も増えて、逆に紙ベースが良いと思う人もいるのではないのでしょうか。

デジタル化の推進は、今後必要と思いますが、現在の行政サービスが充実していることが重要であると思う。人口減少は、角田市に住みたいと思わせる行政サービスが少ないと思われるのも有るのではないかと思う。市職員だけが頑張るのではなく、市民全体の結束を目指すべきと思う。

デジタル化を進めて利便性は向上すると思うが、市の沈没は止まらないと思う(あくまで個人の意見)。

デジタル化することによって、便利になるものが多いと思われるが、小さな字は老眼のため読みにくく、画面の操作も覚えられるのかという不安もある。広報等は紙なので、必要なものは壁に貼っておけるので、何回も画面を開かなくても家確認できるという安心感もある。

税の確定申告の入力も、年1回のため、不慣れで入力に手間取り、手書きだったらとっくに書き終えているのに…とってしまう。

若い人は何でもすぐに覚えられるし、デジタル化は便利だと思うが、自分は「デジタル難民」にならないよう気を付けてはと思う。

デジタル化については、基本的には賛成ですが、老人暮らしの家庭で、デジタル化についていけるか心配、不安です。

デジタル化は、これから大事だと思いますが、私たち老人は、利用するまでの指導をお願いしたいと思います。一人住まいの者としては、なかなか理解できません。

デジタル化を推進するのはいいが、高齢者及び若い年代等の中の操作が苦手な人への配慮も考えながら進めて欲しいと思う。

角田市のデジタル化がどのようなメリットがあるのか、具体的に説明を受けたいし、いろいろな疑問にも答えてもらえる場を設けてもらいたい。

なんでもかんでもデジタル化は賛成できない。ついていけないことも一因ですが…。「広報かくだ」で市長だよりも手書きでしょ！アナログ的ですよ。賛成です。

デジタル化で何が良くなるのか考えてほしい。全部がメリットではないと思います。デメリット対策も考えてほしい。

デジタル化は良いと思うのですが、家に若い人が居るから活用できるのであって、年を取るとなかなかできないと思います。

角田市もデジタル化になるのですか。

PCもスマホも持っていますが、使いこなせていない。

利用は最低限のみ。

申請が必要なものは紙で届かないと見落としそうです。

全てに対し紙ベースで数十年前から行っている事に進歩が全く無いように思います。

特に行政情報誌、各チラシ、行政回覧等は紙の無駄、印刷の無駄で、これこそ不要と思います。

デジタル化、大賛成です。

私は電子化に弱い(苦手)ので、今の世の中、全部デジタルなので、外食してもタブレットでの注文で、やっと注文しています。

携帯電話もまだガラケーで、頑張っています。

広報かくだも紙がもったいないと思います。行政区回覧も回ってきたらチラッと見て、すぐ回します。例えば、回覧板の見たいところ、何か所か必要なことだけ、ごみ捨てに貼ってもらえば、必ず皆が見ると思います。

仙台市、亘理とかの空き缶とかペットボトルを捨てる黄色いカゴにしてほしいです。

デジタル化になると便利になったように思えるが、かえって不便である。アナログ化も残してほしい。

そして、なんでもデジタル化になってしまうとネット犯罪が増えてくるので、セキュリティをしっかりとってほしいものです。安全第一。

デジタル化は大賛成。ただし、なるべく使いやすくしてください。

これからの時代の流れから、デジタル化は普通に使用されるのは間違いない社会現象なので賛成です。人口減少社会と高齢化等でますます情報の入手として便利なPCやスマホの利用も賛成です。

現在、納税組合の組合長が集金している納税も、高齢化が進み、現金のやり取りもどうなのかな？と思いますよ。各家庭が責任をもって各種の税金を納める方が良いかと思います。そういう地区も増えていますよ！と聞いています。

納税組合廃止も検討していただきたいです。

それぞれ何でもメリット・デメリットはありますが、世の中の流れだね。

ペーパーレス化も同様ですよ。給料の明細も今はPCやスマホ等で見られる様になっています。電気や電話の使用量も同様です。紙の使用量削減なども今進んでいますので、デジタル化は賛成です。マイナンバーカードも普及しているようなので、そのカードの活用もありかな？

便利になることは良いですが、高齢にとっては対応が難しいです。

デジタル化とは無関係ですが、防災無線の導入はないのでしょうか？

デジタル化の充実は悪いことではないですが、現実にも目を向ければ、高齢者または貧困者、障害者等、デジタル端末を利用・所有できない人々への対応を考えていかねば、格差を生じるだけではないでしょうか。

ちょっと話は変わりますが、市の検診、コロナワクチンの接種で、角田市内全地域の人々が一か所ですら診断・接種できないという事態は、おかしいと思うのは私だけでしょうか。

なんでも間でも他の行政体が行っているから、角田市もそれに習うというよりは、それを行う事により、利便性を失う人、苦勞を伴う人がいるのではと考察する事から、はじめてみるべきだと意見します。

デジタル化を推進しても、一人暮らしの高齢者にとっては、不安しかない。スマホもパソコンも利用したくても、金銭的な問題や操作方法も分からない状態では、何も変わらないし、変化についていくことは難しいと感じる。

情報通信機器を持っていない、使用できない人のための対応をしてから実施することとして下さい。

高齢になってデジタル力が進み、年金暮らしになればネット環境を整えるだけでも大変だし、社会に取り残される様な気がする。

パソコン等で確認するようになった。電話料や電気料、パスワードやアクセスするホームページアドレス等が不明になり、ほとんど見てない状況。デジタル化で便利になるものもあるでしょうが、パスワード管理や PC の場合、セキュリティソフトの更新等、お金もかかるので、年金のみとなれば、段々見ることがかなわなくなってくると思われま。例えば、電子化された広報等、PDF ファイルだと思いますが、スクロールして全部見るのは、最初は見るかもしれませんが、段々面倒になってみることはなくなりそうです。デジタル化して配信した方が予算は格段に少なくて済むとは思いますが、ペーパーの方が良いという者も考慮していただければと思います。

デジタル化による利便性の向上は、大いに歓迎です。

しかし、利用に際しては個人情報の漏えいの不安もあります。

利用環境の整備とともに、セキュリティの強化推進もお願いいたします。

デジタル化はこれからの社会生活には欠かせないでしょう。しかし、高齢者には中々大変な事だと思います。どのようにお考えなのでしょうか。

高齢者にも理解できるように、分かるようにしてください。

デジタルに弱い方がいっぱいいらっしゃると思います。

ご検討、宜しくお願いします。

70 代の意見

役所内の身近な業務を見直し、デジタル化することにより業務の効率化を図り職員の削減を実施してほしい。住民票等はマイナンバーカードを使用し自宅でも出力出来るといいね。

今イチわからないのが多いのですが、日本語と日本語の間に英語を入れないで、日本語で対応してください。

特にデジタル化を望むものではない。

デジタル化で角田市が持っている各種データが見らよくなれば判断材料が増えて嬉しい。

タブレット端末という言葉は聞いたことはあるが、見たことも触れたことも無い。操作、使用方法等が分かれば1台あっても良い様に思える。

高齢者なのでデジタル化とはどういうことなのか分かりやすい説明会もしくは勉強会などをしてほしい(例えば老人会など地域の集会などで)。今はオレオレ詐欺が多いので、高齢者はカードなどの決済には手が出せない。

社会が色々変化していくと思いますが、年寄りや障がい者等、世の中の変化についていけない人も少なくないと思います。そのことを踏まえた対策が必要だと思います。

年齢が 70 を過ぎると、パソコンは使っていてもインターネットを使用することに不安があり、つなげていません。頭が若者のように追いつかずに、スマートフォンのニュースを見るのが精いっぱいです！

独居老人には、デジタル化は難しい問題です。

県や国でもデジタル化、デジタル化と言っておりますが、なじめない人、機器を持っていない人がいっぱいいると思います。そういう人は、どうしたらいいのでしょうか。若い人のようにパパッとそういう頭には急にはなれません。そういう人たちのためにペーパーとして残してもらいたいと思います。

できることは、年を取ると限られてきます。そういう優しさを持った角田市であってほしいと考えます。

<p>デジタル化は行政担当者の業務効率化目的もあるが、第一の目的は行政サービスを受ける地域住民の生活利便さ（手続きが簡単／情報が速い／レスポンスが速い等）安心さ（間違いがない／期日の厳守／連絡が途切れない等）・安全さ（個人情報が出しにくい等）である。本末転倒にならないシステムの構築を望む。</p>
<p>若い人には好いだろうが、老いた人には利用できて良い。</p>
<p>高齢なのでついていけないと思います。</p>
<p>デジタル化を推進するのもいいですが、70歳以上の方がスマホやパソコンを日常、電子決済など活用しているか疑問です。 携帯電話を持っていても、受け答えするだけの人も多いです。 パソコンやスマホの活用術講習会などが必要になってくると思います。</p>
<p>デジタル化は便利な反面良く分からない事があり講習会等で教えて欲しいです</p>
<p>デジタル化が進んでも高齢者は理解が難しい。格差が広がる一方だと思う。だんだん、住みにくい世の中になってしまふ。従って、拙速なデジタル化は望まない。</p>
<p>私は若い人とは違い考えがデジタル化になるというのが、いまいち理解できませんので、今まで通り誌上の方がいいかなと思っています。</p>
<p>デジタル化になると、年齢的についていけません。</p>
<p>老人にはデジタル化はむずかしいです。対面して対応していただかないと何もわかりません。</p>
<p>地域のデジタル化は困難ではないか</p>
<p>老人には特にデジタル化は興味がありませんが、経費節減に努力してください。</p>
<p>古い人間です。いろいろ覚える能力、スタミナがありません。覚えようとしません。ごめんなさい。</p>
<p>年齢的にデジタル化には縁がないものと思っていますが、できる限り進めた方が良いと思います。</p>
<p>デジタル化しても使いこなせない人が大勢います。デジタル化にすれば個人情報等の管理ができなくなる心配がでてきます。</p>
<p>昭和生まれの高齢者には、現在のデジタル生活についていくことには、70%以上の方が(耳、目、脳)不便です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも分りやすい事 ・説明が理解できる事 ・横文字が理解できない事が多いので、誰が見てもわかりやすい説明 <p>意見として記入しました。</p>
<p>まずはインターネットとは何かとパソコンで調べてから記入を始め、こういうのをインターネットを使用している事にしてよいのかな？と迷いながら記入しました。最近では、どこでもペーパーレスとやらで、パソコン・スマホから情報を得ようと、スマホに(息子に)登録してもらおうが、使いこなせない状況です。 市の情報は紙でもらって綴って見ている状況で安心していましたが、デジタル化になったらどうしたらよいのかと心配です。</p>
<p>高齢者となり、現在と変わってしまうことに不安を感じます。第一、言葉の意味が理解できず困ってしまいますが、これからの若い方々が、生活しやすいように改革していただき、明るく、住みやすい角田市になる事を願っております。</p>
<p>角田市内でのイベント各種のイベントの案内の明確化。 角田市ブランド品の角田ならではのブランド化について、角田市で力を入れてほしい。</p>
<p>デジタル化についていられない。</p>

デジタル化の利便性と行政や地区並びに人と人との精神的なつながりを円滑且つバランス良く進めてほしい。

これからはデジタル化、各種決済サービスが必要とは感じますが、私たち老人は戸惑うことばかりです。スマートフォンの活用もなかなか難しいところです。それに加えて電子化となるとついていけません。ですが、最近、マイナンバーカードをソフトバンクで教えてもらって申請しました。それでポイントをnanakoに入金して使っています。その他の申請に電子化となると大変戸惑います。わかりやすく指導してもらう必要がありますが、職員の方々の対応など考えてほしいです。

マイナンバーカードを保険証、運転免許証に一本化するの、絶対反対！！ ゆくゆくは、預金通帳と一本化する国の魂胆が見え見え。病名を知られたくない人もいます。

保健相はそのまま使えるようにすべき。家族は私以外申請するつもりはないと言っています。

73歳ひとり暮らし且つ車がなく、ごみを出す時が心配です。区割りでのごみ置き場があまりにも遠く、自転車にかかる物しか捨てられません。リサイクル及び粗大ごみ等を家の前に置いて、その物の金券みたいなものをはり、日時を決めた時に出すみたいな事は不可能でしょうか？仙台の話を聞いて、いいなあと思い、書かせて頂きました。よって、これから、雨、雪、風等、段々とごみが増えてきます。それと段ボール何センチ×何センチとか言われると面倒で出来ません。何か良い考えは有りませんか？休みの日に嫁が来たとき、捨てに行ってやるよ！と言われても、休みの時は捨てられません(約束事なので)。

年寄りが増えて、町も大変かと思えます。また、コロナとか何かと大変でしょうが、市民の事も常に考えてありがとうございます。マイナンバーとか作りましたが、職員の方が、優しく丁寧に教えてくれて感謝です。そしてご苦労様です。

デジタル化になる事は、今の世の中では当たり前になっています。特に高齢者の方、仕事等以外で使用する事はなくなり、テレビ・新聞・ラジオ等ではダメされる事があり、いつか自分自身も他人事でなくなるかも？他人に悪用されないことを願っております。

今後、角田市もデジタル化は必要だと思う。自分が若ければ協力したいと思うだろうが、70代になると世の中について行くのが大変になってきた。スマホ・キャッシュレスとかインターネット・オンライン申請などやATM決済などは自分で出来ないし、若い人の力を手助けしてもらわないとダメになって来ているので、デジタル化の今までの行政サービスも両方一緒にしていただきたいという想いである。

角田市でWi-Fiをしようできる場所がほとんどない。

せめて市役所関連の屋内でWi-Fiが使用できるようにしてほしい(体育館なども)。

利用できない人のことを考えて進めてほしい。

デジタル化、分かりません。

時代の流れについていけないのが悲しいです。生きづらいです。

デジタル化になったら、年寄りはどうすれば良いのでしょうか。便利で不便な世の中、年寄りにはこまったものです。

年金生活なので、あまりお金がかかる生活は望ましくないと思う。

スマホ初心者です。デジタル化について行けるように勉強中です。老人にも簡単に操作できるデジタル化をお願いします。

デジタル化はしないでほしいです。

<デジタル化の自治体で維持管理するものとサービスするもの>

*アンケートの中の設問で、どこの項目までがデジタル化を進めていくのか、制限や限定がありそうで、総花的な項目と感じた。

*どこの項目までがデジタル化を進めていくのか、何でもやれるとは言えないが、重点的、国の指針はあると思うが、自治体としてのプライオリティがあるべきだ。

*どのような項目をデジタル化を進めていくのか、行政としてのコンセプトや基本的考え方 又は国の指針に準拠しなければならないのか、その制限や範囲の許容性など見えない。

<自治体でハード面・ソフト面でのサービスするもの>

*デジタル化を進めていく中で、必要に応じて個人的管理のハードが必要になるが、全ての住民が所持しているとは限らない、それらの情報ツール保有と維持管理・サポート方法。

*デジタル化を進めていく中で、必要に応じて個人的管理のソフト面の維持管理が必要になり、バージョン変更など維持管理が避けられない。サポートシステムへ多大なるコスト 発生が懸念される。

<自治体でのデジタル化推進上の盲点>

*デジタル化を推進していく中で、夫々の項目にはほとんどシステム開発と構築に向けて、システム専門開発業者が担当することになり、項目ごとに莫大なコストと期間を費やして具現化される。自治体におけるコストパフォーマンス(これだけではないが)を評価すると良い結果が期待できるかどうか、部分最適と全体最適を見据えると、多くの課題が懸念される。

*デジタル化を推進することで、夫々の職場で働く人々の業務の効率化向上など改善を図ることが可能な中、トータルパフォーマンスを見るとハードルは高いものが多く、デジタル化の一人歩きの部分が散見される。

<自治体での情報のリスク管理>

*デジタル化を進めていく中で、必要に応じて個人的管理のハードが必要になるが、全ての情報が第三者(システム開発者など)の目に見える環境に晒されるが、それら一連のシステムをリスク管理の体制の整備で担保するには無理が懸念される。

<デジタルとアナログ化との共存社会>

*デジタル化は社会の中で、あらゆる分野へと取り入れられ、生活の利便さ・質を向上する とても優れたツールの一つで、残念なことに万能ではないことも知るべきである。夫々に活躍する社会システムの中で業務や事業活動など、デジタル化とアナログ化の強みと弱みがあり、これら一連の仕組みの下で展開されることになり、選択と集中が行われてどちらが良いのか絞り込まれて行くのがスタンダードと言えそうだ。

*我々の日常生活や自治体での業務や住民サービスの提供など、更には社会活動の環境下、社会構造の仕組みの中で、しばらくの間デジタル化とアナログ化が同時並行共存して行くことになる。

*激変する社会の仕組みの中で、しばらくの間デジタル化とアナログ化が共存して、将来的にはデジタル化の特性を活かしている一つに挙げられるインターネット・SNS等は瞬時に多くの人と情報共有が図れるなど優れものである。誰でも手に取り見られる環境にある中で当然のことながらリスクもあるデジタル化の世界が社会システムへと徐々に浸透して行くと考えられる。

ペーパーレスになると手元に資料がないので不安

個人情報の流出の危険もあるので、その対応について明確に説明することが大切と考えます。今後とも利便性の向上だけでなく、市民への理解を深め、高齢者や社会的弱者を取り残さない対策も必要と思います。

デジタル化によって高齢者が取り残されないように。詳しくは「市のホームページ」という案内が良くあるが、住民全ての人が「ホームページ」にアクセスできるだろうか？

第3章 調査票

< 調 査 票 >

I 基本情報

問1 あなたご自身のことについて、当てはまる数字に○をつけてください。

問1-1 年齢を教えてください。(○は1つ)

1 16～19歳	3 30～39歳	5 50～59歳	7 70歳以上
2 20～29歳	4 40～49歳	6 60～69歳	

問1-2へ

問1-2 性別を教えてください。(○は1つ)

1 女性	2 男性	3 その他 ※注
------	------	----------

※注 「その他」とは、セクシュアルマイノリティを考慮した選択肢です。戸籍上の区分とは別に、ご自身の主観によりご記入ください。

問1-3へ

問1-3 お住いの地区を教えてください。(○は1つ)

1 角田地区	4 枝野地区	7 桜地区
2 横倉地区	5 藤尾地区	8 北郷地区
3 小田地区	6 東隈地区	9 西隈地区

問1-4へ

問1-4 職業を教えてください。(○は1つ)

1 学生	5 パート・アルバイト
2 会社員・公務員・団体職員	6 主夫・主婦ほか家事従事者
3 自営業	7 無職(年金生活者含む)
4 自由業	8 その他(具体的に)

問2へ

-1-

II 情報通信機器

問2 あなたが利用している情報通信機器の利用状況に関する1～10項目で、それぞれ当てはまる□を1つ選んで、✓をつけてください。

項 目	利用している	あまり利用していない	利用してないが今後は利用したい	利用してないし今後利用する予定はない
1 パソコン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 スマートフォン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 携帯電話(スマートフォンを除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 タブレット端末	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 固定電話	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 FAX(ファクシミリ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 テレビ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 フジオ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 家庭用ゲーム機	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問3へ

III インターネット

問3 あなたのインターネットの利用状況についてお伺いします。

問3-1 インターネットの利用の有無について、当てはまる数字に○をつけてください。(○は1つ)

1. 利用している → 問3-2へ
2. 利用していないが今後は利用したい → 問3-4へ
3. 利用していないし今後利用する予定はない → 問3-4へ

1に○をつけた方は問3-2へ

2及び3に○をつけた方は問3-4へ

2

問3-2 インターネットを利用している端末及びインターネットの利用頻度について、1～7項目で、それぞれ当てはまる□を1つ選んで、✓をつけてください。

	(ほぼ毎日使用)	一週間に3～5回使用	一週間に1～2回使用	月に1～3回使用	(あまり)使用しない
1 パソコン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 スマートフォン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 携帯電話(スマートフォンを除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 タブレット端末	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 テレビ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 家庭用ゲーム機	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問3-3へ

問3-3 あなたが現在利用しているSNSについて、当てはまる数字に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 LINE	4 TikTok	7 SNSは利用していない
2 Instagram	5 Facebook	8 その他(具体的に)
3 Twitter	6 YouTube	()

問4へ

問3-4 問3-1で2(利用していない)又は3(利用するつもりがない)に○をつけた方に質問です。インターネットを利用していない理由について、当てはまる数字に○をつけてください。(○はいくつでも)

1 興味が無い	5 安全性に不安がある
2 以前は利用していたが、興味がなくなった	6 設定や操作方法がわからない
3 必要性がない	7 その他(具体的に)
4 機器購入費や通信費が高い	()

問4へ

-3-

IV キャッシュレス決済サービス

問4 キャッシュレス決済サービス(クレジットカードや電子マネー、口座振替を利用して、現金を使わずに支払い・受け取りを行う決済方法)は、国が示す「新たな生活様式」で推奨されており、角田市でも新たな決済サービスの実施を検討しています。あなたが現在利用している決済サービスと、今後市税や手数料などの支払いで利用したい決済サービスについて、それぞれの項目で当てはまるものを選んで、数字に○印をつけてください。

問4-1 現在利用している決済サービスはどれですか。(○はいくつでも)

1 クレジットカード払い	6 電子マネーによる支払い(楽天Edy、Suicaなど)
2 インターネットバンキング・モバイルバンキングによる振込	7 決済サービスは利用していない
3 ペイジー(Pay-easy)による支払い(公共料金等の支払いについて、請求書番号を入力又は払込書を読みとることで、パソコン・スマートフォン・ATMから支払うもの)	8 その他(具体的に)
4 コンビニエンスストアでの支払い	()

問4-2へ

問4-2 今後市税や手数料などの支払いで利用できるようにして欲しい決済サービスはどれですか。(○はいくつでも)

1 クレジットカード払い	5 電子マネーによる支払い(楽天Edy、Suicaなど)
2 インターネットバンキング・モバイルバンキングによる振込	6 スマホ決済・QRコード決済(PayPay、LINEPay、PayBなど)
3 ペイジー(Pay-easy)による支払い(公共料金等の支払いについて、請求書番号を入力又は払込書を読みとることで、パソコン・スマートフォン・ATMから支払うもの)	7 無い
4 コンビニエンスストアでの支払い	8 その他(具体的に)

問5へ

4

